

平成26年度
主要な施策の成果

京都府宇治田原町

〈 一 般 会 計 〉

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 人権のつどい開催費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.51)</p>	470	260,296	<p>人権尊重思想の普及高揚を図り、人権問題に対する本町住民の正しい理解と認識を深めるため、「人権のつどい」を開催した。</p> <p>○日時 平成27年2月22日(日)</p> <p>○会場 宇治田原町総合文化センター</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権標語入選者表彰式 <ul style="list-style-type: none"> 小学生の部 3人 中学生の部 3人 一般の部 1人 ・人権啓発講演会 <ul style="list-style-type: none"> 「インターネットによる人権侵害」 (講師：(株)情報文化総合研究所、 武蔵野大学 佐藤佳弘氏) 「インターネット上の消費者トラブル について」 (講師：京都府消費生活安全センター 三室久枝氏) ・行政相談 ・人権相談 ・人権啓発パネル展、人権標語展 	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 地域防犯推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.51)</p>	<p>3,729</p>	<p>3,727,867</p>	<p>交通安全や防犯推進活動の拠点として、青色灯付の地域みまもりステーション「警察官立寄所」を整備するとともに、町内関係団体等が連携し、安心安全な地域社会を実現するため、「宇治田原町地域防犯推進ネットワーク協議会」において、意見交換を行い情報の共有を図るなかで、のぼり旗の設置・啓発物品の配布・パトロール等で地域防犯推進の啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「宇治田原町地域防犯推進ネットワーク協議会」の開催 平成26年7月2日(水) ○府民防犯旬間(7月10日～19日)にあわせた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「町民の窓」7月号に啓発記事掲載 ・府民防犯の日(7月10日)に安心・安全メールを配信 ・啓発のぼりを町内公共施設や金融機関に設置 ○年末警戒パトロール及び啓発物品の配布 一斉下校時間にあわせて年末警戒パトロールを実施 平成26年12月22日(月) ○宇治田原町地域みまもりステーション完成・検査 平成27年3月27日(金) 	<p>総務課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 国際交流事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.51)</p>	183	131,469	<p>「緑茶発祥の地」である本町と「お茶発祥の地」である中国雲南省との民間交流を推進するため、関係機関と連携し各種事業を展開した。</p> <p>◆国際交流講座～中国を知ろう！！～ 京都府名誉友好大使(中国籍)の茶摘み体験とともに、中・高学年の教室に入り、中国茶文化を中心に紹介 ○田原小学校 5月23日(金)／友好大使＝4人 ○宇治田原小学校 5月23日(金)／友好大使＝2人</p> <p>◆小学生児童手摘み茶プレゼント 学校茶園で摘んだお茶とメッセージを添え、中国雲南省政府へ贈呈 ○9月17日(水) 雲南省外事弁公室宛てEMS ○中国青年国際人材交流中心にも送付</p> <p>◆ふるさとまつり国際交流ブースの開設 ○10月19日(日) 講師：野本佳代子氏(中国茶芸師) 補助：チョットボランティア(維中学生徒) ○烏龍茶芸の実演披露と雲南省産中国紅茶の紹介</p> <p>◆その他、メッセージカードの交換など</p> <p>ALT(外国語指導助手)の離任にあたり、将来にわたり本町国際化の推進にご協力を願うため、友好親善大使の任命を行った。</p> <p>◆友好親善大使任命式(送別セレモニー) ○7月8日(火) 対象：レベッカ・キミコ・ハセガワ氏 備考：平成23年8月1日～平成26年7月31日(※3年間) ALT(外国語指導助手)として本町勤務</p> <p>国内41番目となるジェトロ京都貿易情報センターの開設にあたり、各種分野の連携について意見交換を行った。</p> <p>◆意見交換会 ○3月4日(木) 商工会担当者とともにアドバイザーと協議</p>	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 5 財産管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 新庁舎建設計画事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	<p>13,239</p>	<p>1,626,929</p> <p>※H27繰越 11,502,000</p>	<p>新庁舎の建設は、宇治田原町の将来のあり方をはじめ、住民と行政の協働など住民・議会・行政の関係のあり方、さらには市街地の将来構造などに大きな影響をもたらす根幹事業であることから、まちづくりの構想を踏まえ、新庁舎建設基本構想及び基本計画策定に向けた作業に取り組んだ。</p> <p>〈実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎建設委員会（識者、住民等）の設置（会議開催2回） ・庁舎建設プロジェクトチーム設置（会議開催4回） ・新庁舎建設候補地土地鑑定 一式 <p>〈繰越事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設基本構想及び基本計画策定業務 	<p>企画・財政課</p>
<p>7 公共施設等マネジメント推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	<p>281</p>	<p>280,800</p>	<p>将来的な財政規模の縮小は避けられないなか、公共施設及びインフラの老朽化問題が顕在化してきており、その維持管理費は、今後の町財政を圧迫すると予想される。</p> <p>そこで、将来の財政負担を軽減・平準化するため、すべての公共施設、インフラの現状を把握し、長期的な視点をもって、公共施設等総合管理計画策定に向け、打合せ等の策定業務に取り組んだ。</p>	<p>企画・財政課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 第5次まちづくり総合計画策定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	9,774	9,633,665	<p>現(第4次)総合計画の基本計画期間が平成27年度に満了することを受け、平成28年度以降における本町のまちづくりの方向性を明らかにし、その確実な実現を総合的かつ計画的に進める長期的な指針として、新たな第5次まちづくり総合計画の策定を進めた。</p> <p>〈策定体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宇治田原町まちづくり総合計画審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年10月22日に設置。第5次まちづくり総合計画の策定にあたり審議を行う諮問機関として23名の委員で構成。 会長：見上 崇洋 氏(立命館大学教授) ○ 宇治田原町まちづくり総合計画策定会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画策定のための庁内組織。所属長で構成。若手職員で構成するワーキンググループ会議を合わせて設置。 <p>〈平成26年度の主な経過〉</p> <p>H26年5～6月 ○ 「まちづくり総合計画策定ビジョン懇話会」を設置、本町の実情に応じた総合計画の構成を検討。</p> <p>H26年10月 ○ 第1回策定会議 ● 第1回審議会 ※ 諮問、策定方針、住民意識調査の内容について</p> <p>H26年11月～12月 ○ 「まちづくりのための住民意識調査」実施 (18歳以上の町内在住者1,400人を対象)</p> <p>H27年1月 ○ 第2回策定会議 ● 第2回審議会 ※ 住民意識調査の結果、現行の総合計画の評価(課題等)、まちの将来像(キャッチフレーズ)、人口推計案について</p> <p>H27年2月 ○ 策定会議ワーキンググループ会議</p> <p>H27年3月 ○ 第3回策定会議 ● 第3回審議会 ※ まちの将来像(キャッチフレーズ)、基本構想(素案)、基本計画(骨子)について</p>	企画・財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 奥山田ふれあい交流館 管理運営費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.55)</p>	<p>1,692</p>	<p>1,660,724</p>	<p>広く住民等がまちづくり活動及び交流の拠点として活用できる「奥山田ふれあい交流館」として平成25年度に整備した旧奥山田小学校について、指定管理者制度により管理運営を行った。</p> <p>〈実施内容〉 奥山田ふれあい交流館の指定管理者をプロポーザル形式により公募し、地元区である奥山田区を指定管理者として指定、管理運営を委託した。</p> <p>〈経緯〉 ○H26年4月奥山田ふれあい交流館設置・管理条例を制定。 ○H26年5月指定管理者公募、奥山田区を決定。6月議会定例会にて指定管理者の議決を受ける。</p> <p>※地元区である奥山田区に指定管理委託を行ったことにより、地域の実情に密着した運営が行われた。また、利用申請へも即時に対応できた。 (平成26年度利用者数) 49件、625人</p>	<p>企画・財政課</p>

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 ともに創るまちづくり推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.57)</p>	292	85,146	<p>「町ともに創るまちづくり推進条例」及び条例の具現化に向けた「ともに創るまちづくり推進計画」の普及啓発と推進に向け、「ともに創るまちづくり推進協議会」が行う活動を支援した。</p> <p>〈ともに創るまちづくり推進協議会〉 町内で自主的なまちづくり活動をされている住民の方々や学識経験者、農林商工関係者等で運営委員会を構成。 会長：馬場 哉氏（菓子製造販売業、田原小学校区学社連携推進委員会委員長） コーディネーター：谷口 知弘氏（同志社大学 客員教授） 窪田 好男氏（京都府立大学公共政策学部 准教授）</p> <p>〈平成26年度の取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> → 協議会の取り組み方向性の協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回運営委員会(H26.4.24) 25年度の振り返りと26年度の取り組みについて ・ 第2回運営委員会(H26.11.26) 維孝館中学校への出前授業について ・ 第3回運営委員会(H27.1.8) 出前授業の事前打ち合わせについて ○ ともつくカフェ <ul style="list-style-type: none"> → 課題の抽出、プラットフォーム（共催）で取り組む事業の発見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回ともつくカフェ(H26.6.7) 「宇治田原が大好きなダッズ（おやじ）たちが仲間を繋げるための交流の場」 ○ 出前授業 <ul style="list-style-type: none"> → 未来の活動の担い手である中学生への研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 維孝館中学校出前授業(H27.1.14・1.17) ○ ふくしまっこin宇治田原PJ <ul style="list-style-type: none"> → プラットフォーム（共催）事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「元気回復キャンプ」開催（H26.8.16～8.18） 	企画・財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 自主防災組織支援事業費 (歳入歳出決算書 P.57)</p>	2,133	1,914,837	<p>各自主防災組織が実施する防災対策活動に対し、補助金を交付するとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき、各地区防災訓練への支援・家庭用備蓄品の啓発等を行った。</p> <p>●自主防災組織安心安全活動補助金の交付 自主防災組織が行う防災訓練活動や資機材・物資整備など防災対策活動に補助金を交付した。 9組織 1,306,000円</p> <p>●各地区自主防災訓練</p> <p>高尾 平成26年11月16日 郷之口 平成26年 6月 8日、平成26年11月30日 荒木 平成26年 6月15日、平成26年11月23日 南 平成26年10月25日 銘城台 平成26年 9月21日、平成27年 2月15日 岩山 平成26年 6月 8日、平成26年11月 9日 平成27年 1月12日 緑苑坂 平成26年11月 9日 禅定寺 平成26年11月 9日、平成27年 2月 8日 立川 平成26年11月 9日 湯屋谷 平成26年11月 9日 奥山田 平成26年11月 9日</p> <p>●昨年に引き続き、小学校区単位で総合防災訓練を11月に実施した。</p>	総務課
<p>3 キッズ防火隊促進事業費 (歳入歳出決算書 P.57)</p>	243	128,790	<p>将来の地域防災を担う人材を育成することを目的として、各地区・自主防災組織が児童で組織する「キッズ防火隊」の発足を促進した。</p> <p>●キッズ防火隊の発足促進・装備品(帽子・ジャンパー)の貸与 ・岩山区キッズ防火隊発足 平成27年1月12日</p>	総務課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課															
5 災害時避難所物資整備 事業費 (歳入歳出決算書 P.57)	882	743,895	<p>災害等に備え、避難所等に生活物資の備蓄や防災資機材の整備・充実を図り、住民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進した。</p> <p>●一時避難所及び避難所に対し、難燃毛布、備蓄食料を補充した。</p> <table border="0"> <tr> <td>・宇治田原小</td> <td>難燃毛布</td> <td>20枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>備蓄食糧</td> <td>500食</td> </tr> <tr> <td>・岩山会館</td> <td>難燃毛布</td> <td>10枚</td> </tr> <tr> <td>・禅定寺会館</td> <td>難燃毛布</td> <td>10枚</td> </tr> <tr> <td>・湯屋谷会館</td> <td>難燃毛布</td> <td>10枚</td> </tr> </table> <p>●小型造水機定期保守点検ほか</p>	・宇治田原小	難燃毛布	20枚		備蓄食糧	500食	・岩山会館	難燃毛布	10枚	・禅定寺会館	難燃毛布	10枚	・湯屋谷会館	難燃毛布	10枚	総務課
・宇治田原小	難燃毛布	20枚																	
	備蓄食糧	500食																	
・岩山会館	難燃毛布	10枚																	
・禅定寺会館	難燃毛布	10枚																	
・湯屋谷会館	難燃毛布	10枚																	

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 町内産材活用バス停整備 費補助金 (歳入歳出決算書 P.59)	3,221	3,178,000	<p>利用者の利便性・快適性の向上のためバス事業者が行う町内産材を活用したバス停整備に対して支援を行うことにより、路線バスの利用促進や町内産材の活用促進を図った。</p> <p>〈事業実施主体〉 京都京阪バス株式会社</p> <p>〈整備したバス停〉 下町、大宮道、岩山、長山口、宇治田原小学校前の下り5棟</p> <p>〈補助率〉 事業費の1/2</p>	企画・財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 バスカードシステム整備費補助金 (歳入歳出決算書 P.59)</p>	1,054	982,000	<p>路線バスの利用者の利便性の向上のためバス事業者が行うICカードシステム導入に対して、京都府や沿線市町と協調して支援を行うことにより地域公共交通の確保・維持・改善を図った。</p> <p><事業実施主体> 京都京阪バス株式会社</p> <p><事業内容> 京都京阪バス(株)が、公共交通機関の利用促進策の一環として、関西圏を中心とした鉄道・バス事業者で運営する「スルッとKANSAI」が提供する交通系ICカードシステム「PiTaPa(ピタパ)」を一般乗合路線全エリアへ導入するにあたり、府、沿線市町(京都市、宇治市、城陽市、京田辺市、久御山町)と協調して補助金を交付した。</p> <p><補助金額> 補助対象事業費(98,760,000円)×本町分営業走行キロ率(9.9468%)×補助率(1/10)=982,000円(千円未満切捨て)</p>	企画・財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 コミュニティバス運行管理補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 59)</p>	5,049	5,048,419	<p>バス路線の廃止地域である奥山田・湯屋谷両区が運営するコミュニティバスの運行に対して、宇治田原町コミュニティバス運行管理補助金交付規則に基づき支援を行った。</p> <p>〈運行内容〉 平日：20便／日(小学生スクールバス併用4便含む) 土・日・祝日：18便／日 360日運行</p> <p>〈利用者数〉 平成26年度 7,303人(前年度比△1,755人) (推移) ⑰12,146人、⑱12,156人、⑲15,682人、⑳14,772人、 ㉑12,581人、㉒10,748人、㉓9,827人、㉔9,121人、 ㉕9,058人</p> <p>〈交付実績〉 平成26年度 5,049千円(前年度比159千円) (参考) ⑰4,216千円、⑱4,469千円、⑲4,055千円、⑳4,266千円、 ㉑4,123千円、㉒4,497千円、㉓4,201千円、㉔4,101千円、 ㉕4,890千円</p>	企画・財政課

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>7 JR奈良線高速化・複線化事業費補助金</p> <p>(歳入歳出決算書 P.59)</p>	1,479	1,082,000	<p>JR奈良線の利便性向上による京都府南部地域の活性化を図るため、JR西日本が実施するJR奈良線の高速化・複線化第二期事業に対して、京都府及び関係市町とともに支援を行った。</p> <p>〈事業実施主体〉 西日本旅客鉄道株式会社</p> <p>〈事業概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 藤森～宇治、新田～城陽、山城多賀～玉水駅間(14.0km)の複線化 ・ 京都駅、六地蔵駅並びに棚倉駅の構内改良等 <p>〈平成26年度事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響評価、鉄道施設の設計等 <p>〈平成26年度本町負担額〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 831 1599 959"> <tr> <td>総事業費…①</td> <td>369億円</td> </tr> <tr> <td>うち京都府負担額</td> <td>138億円</td> </tr> <tr> <td>うち関係市町負担額…②</td> <td>138億円</td> </tr> <tr> <td>うち西日本旅客鉄道株負担額</td> <td>93億円</td> </tr> </table> <p>→本町負担割合 …③1.13%</p> <p>補助対象事業費…④ 256,000,000円</p> <p>→ ④256,000,000円×②138億円/①369億円×③1.13% ≒ 1,082,000円</p>	総事業費…①	369億円	うち京都府負担額	138億円	うち関係市町負担額…②	138億円	うち西日本旅客鉄道株負担額	93億円	企画・財政課
総事業費…①	369億円											
うち京都府負担額	138億円											
うち関係市町負担額…②	138億円											
うち西日本旅客鉄道株負担額	93億円											

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 障がい福祉計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	1,324	1,284,056	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい福祉サービス、地域生活支援事業に関する年度ごとの計画(事業量)とその確保のための方策等を定める「宇治田原町第4期障がい福祉計画」(計画期間=平成27~29年度)を策定した。</p> <p>宇治田原町障がい者基本計画等策定委員会(委員=12名)</p> <p>○会議開催</p> <p>第1回(H26.7.18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期障がい福祉計画について(諮問) ・「第4期障がい福祉計画」の策定について ・住民アンケート等の実施内容について ・今後のスケジュール(案)について <p>第2回(H26.11.21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケート等の実施結果について ・第4期障がい福祉計画(素案)について ・計画素案に係るパブリックコメントについて <p>第3回(H27.2.27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画素案に係るパブリックコメント結果と回答案について ・第4期障がい福祉計画(案)について ・委員会の計画案を決定、町に答申 <p>○アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケート(身体障害者手帳等所持者) 配布数411件 回収数263件 回収率64.0% ・サービス事業所(町内の障がい者が利用中の事業所等) 配布数27法人 回収数15法人 回収率55.6% <p>○パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4名から5件の意見提案 	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 障がい者自立支援給付等事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	208,652	193,639,519	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。</p> <p>1 障がい程度区分認定 (認定調査17件、主治医意見書15件、審査会委託19件) 525,120円</p> <p>2 自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 (1,464件) 169,169,608円</p> <p>3 自立支援医療給付 (405件) 11,954,700円</p> <p>4 障がい児通所給付 (162件) 7,049,507円</p> <p>5 補装具給付(額には町単費助成含む) (33件) 1,871,013円</p> <p>6 障がい者福祉サービス等利用支援(国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施) (253件) 1,672,697円</p> <p>7 障がい者自立支援特別対策事業(法制度の円滑な運用を図るための臨時的な事業に要する経費を支援)等 200,425円</p> <p>8 その他(障がい福祉サービスシステム改正・保守委託料等) 1,196,449円</p>	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 障がい者地域生活支援事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	11,990	9,604,325	障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。 1 障がい者生活支援センター委託〈3事業所〉 1,144,000円 2 意思疎通(コミュニケーション)支援事業 〈手話通訳34件・要約筆記5件〉 ※別掲 3 移動支援事業 〈19名、957時間利用〉 2,328,653円 4 日中一時支援事業 〈11名、3,076時間利用〉 3,005,275円 5 地域活動支援センター機能強化事業 〈1名、133時間利用〉 133,000円 6 日常生活用具給付事業 〈210件〉 2,774,081円 7 手話奉仕員養成事業 〈1名受講〉 219,316円	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>5 障がい者のための交通支援事業費 (歳入歳出決算書 P.67)</p>	3,182	2,428,608	<p>1 福祉タクシー利用券助成 外出困難な障がい者に対し、タクシー料金及び自家用自動車の燃料代金の一部を助成することにより、障がい者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図った。 〈対象者〉 (1) 視覚障がい……………1級、2級 下肢、体幹機能障がい……………1級、2級 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫機能障がい……………1級 (2) 療育手帳……………A (3) じん臓機能障がい者で人工透析を受けている者 (障がい等級不問) (4) 障害児通所給付費受給者証の交付を受けている児童の保護者 〈利用券交付枚数〉 100円券120枚綴り1冊(12,000円分)を交付。ただし、(1)及び(3)に重複して該当する方には2冊(24,000円分)を交付。 ※平成19年度より町内給油所におけるガソリン券としても利用可としている。 〈平成26年度実績〉 ・145人に対し162冊(×12,000円=1,944,000円分)を交付 ・使用実績額 1,781,700円(交付額に対する使用率91.7%) (利用券印刷費 2,808円)</p> <p>2 障がい者施設通所交通費助成 公共交通機関を利用して施設に通所する方々に対し、町独自に交通費(障がい者割引を受けた場合は割引後の額)の2分の1を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図った。 〈対象者〉 町内に在住する障がい者で、施設へ公共交通機関を利用して通所する者 〈平成26年度実績〉 ・上半期分 10人 332,810円 ・下半期分 9人 311,290円</p>	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 障がい者コミュニケーション支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	411	348,861	<p>聴覚障がいや音声機能その他の障がいのある人のコミュニケーション支援を充実するため、(福)京都聴覚言語障害者福祉協会(「聴言センター」)及び町内のボランティアサークルとの連携・協力体制を強化し、手話通訳者・要約筆記者の派遣・設置を実施した。</p> <p>〈実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手話通訳者の派遣 利用者からの申請に基づき、聴言センターへの委託事業により、京都府登録手話通訳者を派遣した。 ○要約筆記者の派遣(配置) 町が主催する事業等(追悼式、敬老会、綴喜2市2町「障害者週間」啓発事業、人権のつどい、わかば会のつどい)に、聴言センターへの委託事業及び町内ボランティアサークルとの事業協力により、京都府登録要約筆記者を派遣(合理的配置)し、コミュニケーション支援を充実した。 <ul style="list-style-type: none"> ・要約筆記に係る周知 要約筆記者の派遣に係る周知・申込チラシを作成し、上記事業会場での配布をはじめ、聞こえに不自由を感じている方々への周知を図った。 ・町内ボランティアサークルの活動機会の拡大 町内の要約筆記ボランティアサークルと事業協力に係る連携・協力体制を構築し、要約筆記者の補助を行っていたなど、活動機会の拡大を図った。 	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>12 障がい者福祉新施設整備支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	3,000	3,000,000	<p>障がい者が地域での生活を安心して送ることができるよう、社会福祉法人宇治田原むく福祉会が新たに建設した、障がい福祉サービスを複合的・総合的に提供する施設（グループホーム・ショートステイ・相談支援事業・居宅介護事業）の整備費用に対して町独自に支援し、障がい福祉の充実を図った。</p> <p>〈新施設概要〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体 社会福祉法人 宇治田原むく福祉会 ○建設地 宇治田原町郷之口中林13番1他 ○建物構造 鉄骨造 合金メッキ鋼板葺き 2階建 ○床面積 1階 188.24㎡ 2階 138.29㎡ ○実施事業 <ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助（グループホーム） ・短期入所（ショートステイ） ・相談支援事業 ・居宅介護事業 	福祉課
<p>13 臨時福祉給付金事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.67)</p>	18,186	17,939,312	<p>消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、低所得者に対する適切な配慮を行うため、市町村が実施主体となり、暫定的・臨時的な給付措置として「臨時福祉給付金」を給付した。</p> <p>〈給付対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町民税（均等割）が課税されていない者。ただし、次の者を除く。 <ul style="list-style-type: none"> ・町民税（均等割）が課税されている者の扶養親族等 ・生活保護制度内で対応される被保護者 <p>〈基準日〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年1月1日 <p>〈給付額〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象者一人につき1万円 ○加算措置：対象者のうち老齢基礎年金受給者、児童扶養手当受給者等には、一人につき5千円を加算 <p>〈給付実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給付額計：15,325,000円 ○給付者数：1,200人（うち加算者665人） 	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
15 福祉応援金支給事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	2,922	2,921,540	日常生活において、各種困難を克服しながら頑張っておられる方々に対し、心の安定と福祉の増進を図ることを目的に福祉応援金の支給を行った。 (1) ひとり親児童扶養者 小学校入学時、中学校入学時のそれぞれに 10,000円(図書カード)・・・19人 (2) 65歳以上の要介護4又は5の者と同居し介護している者 30,000円(商品券)・・・21人 (3) 町民税非課税世帯の心身障がい者 身体・精神障害者手帳1・2級及び療育手帳A判定者 10,000円(商品券)・・・55人 (4) 独居高齢者 満70歳以上であって、ひとり暮らしの者 10,000円(商品券)・・・152人	福祉課
22 子育て支援医療費支給事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	28,395	27,384,624	次代を担う子どもたちを健やかに産み育てる環境づくり及び子育て支援の一環として、医療費を助成し、出生から中学校修了までの子どもの健康維持・増進を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図った。(平成23年10月より町独自に中学生まで対象を拡大した) 〈子育て支援医療扶助費〉 26,422,445円 内訳 府制度分10,633,869円 町制度分15,788,576円 〈子育て支援医療審査支払手数料〉 895,759円 〈受給者証印刷代〉 66,420円 〈年度未受給者証数〉 平成22年度 府 1,050人 町 848人 平成23年度 府 1,021人 町 1,115人 平成24年度 府 981人 町 1,070人 平成25年度 府 1,056人 町 980人 平成26年度 府 935人 町 1,027人 ※平成24年9月診療分から、京都府制度(3,000円超外来)が小学校修了まで拡充された。	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
29 療育教室運営事業費 (歳入歳出決算書 P.67)	3,066	2,136,763	<p>集団生活に適応困難な発達障がい児を対象に、発達課題に応じた適切な指導を行い、二次障がいを未然に防止するため、療育教室を運営し、発達支援と児童福祉の向上を図ることを目的として45回実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>7人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>(延べ人数)</td> <td>(151人)</td> <td>(155人)</td> <td>(129人)</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	実人数	7人	6人	4人	(延べ人数)	(151人)	(155人)	(129人)	健康長寿課
	平成24年度	平成25年度	平成26年度													
実人数	7人	6人	4人													
(延べ人数)	(151人)	(155人)	(129人)													
32 福祉バス運行費 (歳入歳出決算書 P.67)	10,604	10,367,880	<p>高齢者及び障がい者等の日常的な交通手段を確保するため、福祉バスを運行した。</p> <p>〈利用対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね65歳以上の者 ・障がい者等で歩行等による移動が困難な者 ・妊婦 ・小学校就学前の子どもと同乗する保護者等及びその子ども ・上記以外の者で運転手が認める者 <p>〈運行日〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日(祝日、8/14～16、12/28～1/4を除く) <p>〈運行経路及び運行便数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①禅定寺～銘城台(11便/日) ②立川～銘城台(13便/日) ③高尾(6便/日・週2回) <p>〈利用者数〉</p> <p>平成26年度 14,253人(前年度比1,623人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑯11,764人、⑳15,089人、㉑14,973人、㉒14,856人、 ㉓15,576人、㉔14,011人、㉕12,630人 <p>〈有料広告掲載料収入〉</p> <p>車内広告24,000円</p>	企画・財政課												

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
7 シルバー人材センター 運営補助事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	7,747	5,747,000	<p>高齢化社会を迎え、高齢者が長年培ってきた経験と技術を活かし、地域社会へ貢献していただくため、就労機会のあつせんを目的に設立されたシルバー人材センターの運営に対して補助を行い、センターの円滑な運営を促進した。</p> <p>〈平成26年度のシルバー人材センターの受託状況等〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受託件数</th> <th>受託金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・行政関係</td> <td>222件</td> <td>17,330,273円</td> </tr> <tr> <td>・民間企業</td> <td>271件</td> <td>15,294,321円</td> </tr> <tr> <td>・一般家庭</td> <td>133件</td> <td>2,941,302円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>626件</td> <td>35,565,896円</td> </tr> <tr> <td>就業日数</td> <td colspan="2">7,315人/日</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td colspan="2">119人(平成27年3月末現在)</td> </tr> </tbody> </table> <p>□</p>		受託件数	受託金額	・行政関係	222件	17,330,273円	・民間企業	271件	15,294,321円	・一般家庭	133件	2,941,302円	計	626件	35,565,896円	就業日数	7,315人/日		会員数	119人(平成27年3月末現在)		福祉課									
	受託件数	受託金額																																
・行政関係	222件	17,330,273円																																
・民間企業	271件	15,294,321円																																
・一般家庭	133件	2,941,302円																																
計	626件	35,565,896円																																
就業日数	7,315人/日																																	
会員数	119人(平成27年3月末現在)																																	
9 高齢者福祉サービス事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	10,000	8,451,733	<p>要援護高齢者及び一人暮らし高齢者並びにその家族に対し、自立と生活の質の確保を図ることを目的に各種生活支援サービスを提供した。</p> <p>〈事業実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>件数等</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急通報装置貸与事業</td> <td>52台</td> <td>811,775円</td> </tr> <tr> <td>移送サービス事業</td> <td>106件</td> <td>743,000円</td> </tr> <tr> <td>生きがいデイサービス事業</td> <td>4件</td> <td>25,005円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(長楽会)</td> <td>7,580食</td> <td>3,259,830円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(社協)</td> <td>558食</td> <td>601,000円</td> </tr> <tr> <td>食の自立支援事業(シルバー配食)</td> <td>309回</td> <td>2,136,523円</td> </tr> <tr> <td>心配ごと相談事業</td> <td>11件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>介護用品購入助成事業</td> <td>148件</td> <td>774,600円</td> </tr> <tr> <td>ふとん丸洗いサービス事業</td> <td>1件</td> <td>50,000円</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	件数等	金額	緊急通報装置貸与事業	52台	811,775円	移送サービス事業	106件	743,000円	生きがいデイサービス事業	4件	25,005円	食の自立支援事業(長楽会)	7,580食	3,259,830円	食の自立支援事業(社協)	558食	601,000円	食の自立支援事業(シルバー配食)	309回	2,136,523円	心配ごと相談事業	11件	50,000円	介護用品購入助成事業	148件	774,600円	ふとん丸洗いサービス事業	1件	50,000円	健康長寿課
事業名	件数等	金額																																
緊急通報装置貸与事業	52台	811,775円																																
移送サービス事業	106件	743,000円																																
生きがいデイサービス事業	4件	25,005円																																
食の自立支援事業(長楽会)	7,580食	3,259,830円																																
食の自立支援事業(社協)	558食	601,000円																																
食の自立支援事業(シルバー配食)	309回	2,136,523円																																
心配ごと相談事業	11件	50,000円																																
介護用品購入助成事業	148件	774,600円																																
ふとん丸洗いサービス事業	1件	50,000円																																

(款) 3 民生費 (項) 1 社会福祉費 (目) 3 老人福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 町内産材活用やすらぎ 荘浴室整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 69)</p>	<p>5,454</p>	<p>5,454,000</p>	<p>高齢者のふれあいと憩いの場であるやすらぎ荘の浴室設備について、町内産材を活用した改修を行い、木のぬくもりのある快適な浴室空間を創造した。</p> <p><整備内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「木のぬくもり」のある空間 浴室・脱衣室の壁面及び天井を町内産材（檜板）に張替 ○「快適」な空間 脱衣室冷暖房の設置 ○「衛生的」な空間 浴室床・浴槽のタイル、脱衣室床のタイルカーペットへの張替 ○その他 照明器具・水栓器具等の取替 <p><事業費></p> <ul style="list-style-type: none"> ○工事請負 4,968,000円 ○設計監理 486,000円 <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用拡大の取り組み やすらぎ荘お風呂開設日 改修前 週1回（水曜日） ↓ 改修後 週2回（水・金曜日） 	<p>福祉課</p>

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 子ども・子育て支援事業計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P. 69)	2,112	2,110,144	<p>「子ども・子育て支援法」において「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定が明記されたことから、平成27年度の制度本格施行に向け、「宇治田原町子ども・子育て会議」を平成25年度に設置し、計画策定に向け継続して子ども・子育て会議を開催した。子ども・子育て会議からの提言を受け、「子どもはまちの未来 みんなで育む うじたわらっ子」を基本理念とする「宇治田原町子ども・子育て支援事業計画」(計画期間=平成27~31年度)を策定した。</p> <p>○宇治田原町子ども・子育て会議(委員14名) 第3回(H26.5.26) ・ニーズ調査の結果に基づくニーズ量の見込みについて ・子ども・子育て支援事業計画骨子案について ・今後のスケジュールについて 第4回(H26.8.28) ・子ども・子育て支援新制度に関する各種事業の条例で定める基準について ・子ども・子育て支援事業計画素案について ・今後のスケジュールについて 第5回(H26.10.30) ・子ども・子育て支援事業計画(素案)について ・保育の必要性に関する認定の基準について ・パブリックコメントの実施について ・今後のスケジュールについて 第6回(H27.1.29) ・子ども・子育て支援事業計画(素案)に対するパブリックコメント結果とその回答について ・子ども・子育て支援事業計画(案)及び提言内容について ・新制度における利用者負担について ○パブリックコメント 12名から18件の意見提案</p>	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 子育て世帯臨時特例給付金事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.69)</p>	13,244	13,059,948	<p>消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、市町村が実施主体となり、臨時的な給付措置として「子育て世帯臨時特例給付金」を給付した。</p> <p>〈給付対象者〉 ○平成26年1月分の児童手当の受給者（特例給付含む）で平成25年所得が児童手当の所得制限に満たない者。 ただし、次の者を除く。 ・臨時福祉給付金の対象者 ・生活保護制度内で対応される被保護者</p> <p>〈基準日〉 ○平成26年1月1日</p> <p>〈給付額〉 ○対象児童（0歳～中学生）一人につき1万円</p> <p>〈給付実績〉 ○給付額計：11,220,000円 ○給付者数：1,122人</p>	福祉課

(款) 3 民生費 (項) 2 児童福祉費 (目) 2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 保育所安心安全対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.71)</p>	2,542	2,513,339	<p>保育所内の安心安全対策の向上を目的として、これまでの安全巡視員の配置に加え、門扉への電気錠設置などにより、外部からの不審者侵入の防止強化を図った。</p> <p>〈事業内容〉</p> <p>○安全巡視員の配置(1名) 児童の送迎時間帯における保育所への不審者侵入の防止及び安全な駐車場利用を促す。 委託料 1,152,800円</p> <p>○液晶モニター付インターホン及び電気錠の設置 保育所入口及び職員室・保育ルームに液晶モニター付きインターホンを設置するとともに、門扉に電気錠を設置し、職員室等から解錠操作することで不審者の侵入を防止する。 工事請負費 1,285,200円</p> <p>○ネックストラップ型保護者カードの配布 保育所への来所時にネックストラップ型保護者カードの提示により保護者以外の来所者と識別する。 消耗品費 75,339円</p>	福祉課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																						
2 健やかうじたわら21プラン改定事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	897	752,225	<p>平成27年度に宇治田原町健康増進計画「健やかうじたわら21プラン」の中間評価・見直し期間を迎えることから、その基礎資料を得るため、アンケート内容について、学識経験者と協議を行い、アンケート調査を実施した。</p> <p>〈実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学識経験者との協議 ○ アンケート調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者：町内18歳以上男女 (3,000人) ・ 実施方法：郵送により実施 配布数3,000件 回収数1,714件 回収率57.1% 	健康長寿課																						
3 健康増進事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	2,133	1,834,192	<p>生活習慣病等の予防や健康に関する正しい知識の普及を図るため、各種検診や健康教育・相談等を実施した。</p> <p>〈健康手帳新規交付件数〉</p> <table border="1"> <tr> <td>40歳以上の方</td> <td>275人</td> </tr> </table> <p>〈健康教育・相談等実施数〉</p> <table border="1"> <tr> <td>健康教育</td> <td>124人 (8回)</td> </tr> <tr> <td>健康相談</td> <td>138人 (7回)</td> </tr> </table> <p>〈各種検診等実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活習慣病健診</td> <td>614人</td> <td>53人</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>691人</td> <td>141人</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td> <td>3,904人</td> <td>142人</td> <td>3.6%</td> </tr> </tbody> </table>	40歳以上の方	275人	健康教育	124人 (8回)	健康相談	138人 (7回)		対象者数	受診者数	受診率	生活習慣病健診	614人	53人	8.6%	肝炎ウイルス検診	691人	141人	20.4%	骨粗しょう症検診	3,904人	142人	3.6%	健康長寿課
40歳以上の方	275人																									
健康教育	124人 (8回)																									
健康相談	138人 (7回)																									
	対象者数	受診者数	受診率																							
生活習慣病健診	614人	53人	8.6%																							
肝炎ウイルス検診	691人	141人	20.4%																							
骨粗しょう症検診	3,904人	142人	3.6%																							

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 健康づくり応援「買い物ポイント」事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	146	87,840	住民の健康増進を目指し、各種健康教室・検診等への参加者の増加を図るため、対象者へ健康づくり応援ポイント(ポイント引換券)を付与した。 ※ポイント引換券は、UPカード15ポイントと引換可能 <実施内容> ○対象事業 ・元気はつらつ若返り塾・スリムで健康教室・がん検診 ○発行枚数 3,352枚 ○交換枚数 2,928枚 (ポイント引換有効期限:6カ月)	健康長寿課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																					
<p>6 各種がん検診事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	5,962	4,649,263	<p>死亡原因の第1位の「悪性新生物(がん)」の早期発見・早期治療を目的に、健康増進法に基づき各種がん検診を実施した。</p> <p>〈実施期間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診 (個別) 平成26年7月～9月 ・肺がん、結核検診、胃がん検診、大腸がん検診 (集団) 平成27年1月26日・28日・29日 ・子宮頸がん検診、乳がん検診 (集団) 平成27年2月6日・9日・10日 (個別) 平成26年11月～平成27年2月 <p>〈対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺がん、結核検診、胃がん検診、大腸がん検診 40歳以上 ・子宮頸がん検診 20歳以上で平成25年度に受診していない女性 ・乳がん検診 30歳以上の女性 40歳以上で平成25年度に受診していない女性 ・前立腺がん検診 55歳以上の男性 <p>〈検診実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 1082 1686 1305"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>区別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>259人</td> <td>集団・個別</td> </tr> <tr> <td>肺がん、結核検診</td> <td>250人</td> <td>集団</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>176人</td> <td>集団</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>93人</td> <td>集団・個別</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>95人</td> <td>集団・個別</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>156人</td> <td>個別</td> </tr> </tbody> </table>		受診者数	区別	大腸がん検診	259人	集団・個別	肺がん、結核検診	250人	集団	胃がん検診	176人	集団	子宮頸がん検診	93人	集団・個別	乳がん検診	95人	集団・個別	前立腺がん検診	156人	個別	健康長寿課
	受診者数	区別																							
大腸がん検診	259人	集団・個別																							
肺がん、結核検診	250人	集団																							
胃がん検診	176人	集団																							
子宮頸がん検診	93人	集団・個別																							
乳がん検診	95人	集団・個別																							
前立腺がん検診	156人	個別																							

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
<p>7 節目のがん検診推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	2,507	1,720,941	<p>特定の年齢に達した者に対して、子宮頸がん、乳がん及び大腸がんに関する検診手帳並びに検診費用が無料となるがん検診クーポン券を送付し、働き盛りの世代におけるがんの早期発見と健康意識の普及啓発を図った。</p> <p>〈実施期間〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん、乳がん検診 平成26年7月1日～平成27年2月28日 ・大腸がん検診 平成26年10月 <p>〈対象者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん検診 20歳の女性＋過去5年間にクーポン未受診の女性 ・乳がん検診 40歳の女性＋過去5年間にクーポン未受診の女性 ・大腸がん検診 40、45、50、55、60歳になる男女 <p>〈検診実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1055 927 1709 1054"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>22.1%</td> <td>17.0%</td> <td>3.9%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>27.5%</td> <td>20.4%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>20.8%</td> <td>20.0%</td> <td>17.2%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	26年度	子宮頸がん検診	22.1%	17.0%	3.9%	乳がん検診	27.5%	20.4%	5.8%	大腸がん検診	20.8%	20.0%	17.2%	健康長寿課
	24年度	25年度	26年度																	
子宮頸がん検診	22.1%	17.0%	3.9%																	
乳がん検診	27.5%	20.4%	5.8%																	
大腸がん検診	20.8%	20.0%	17.2%																	

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
<p>8 ハッピー・マタニティ支援事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	5,860	5,172,090	<p>妊娠時における妊婦健康診査の費用を助成することで、妊娠・出産に係る費用負担の軽減等を図り、安心して妊娠・出産できる環境づくりに取り組んだ。</p> <p>〈助成内容〉 妊婦に必要とされる健診等が受けられる受診券を支給 受診できる主な検査項目等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本健診(問診、診察等) 14回 ・血液検査 4回 ・免疫検査 1回 ・子宮頸がん検査 1回 ・B群溶血性レンサ球菌検査 1回 ・H I V抗体価検査 1回 ・超音波検査 4回 ・H T L V - 1 抗体検査 1回 ・クラミジア検査 1回 <p>〈助成等の実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1072 895 1709 1023"> <tr> <td>申請者数</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>母子健康手帳の交付</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>妊婦健康診査の受診者数(実数)</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>妊婦健康診査の受診者数(延べ)</td> <td>782人</td> </tr> </table>	申請者数	61人	母子健康手帳の交付	54人	妊婦健康診査の受診者数(実数)	91人	妊婦健康診査の受診者数(延べ)	782人	健康長寿課
申請者数	61人											
母子健康手帳の交付	54人											
妊婦健康診査の受診者数(実数)	91人											
妊婦健康診査の受診者数(延べ)	782人											

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>9 スリムで健康事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	139	78,902	<p>健康で元気に長生きするため、メタボリックシンドローム等に代表される生活習慣病の予防や住民の健康課題に対応した実践型の集団教育・健康教室を実施した。</p> <p>(実施日時)</p> <p>①平成27年 2月16日(月) 午前10時 ~12時</p> <p>②平成27年 3月 3日(火) 午前10時 ~12時</p> <p>③平成27年 3月16日(月) 午前10時30分~12時</p> <p>(参加者)</p> <p>実人数15人 (延人数40人)</p> <p>(実施内容)</p> <p>①運動 手軽にシェイプアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体計測・血圧測定 ・知って得する生活習慣病予防の話 ・ヨーガストレッチング <p>スタッフ：看護師2人、健康運動指導士1人、管理栄養士1人</p> <p>②栄養 美味しくヘルシー食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事バランス ・ミニ・クッキング！簡単身体ぽかぽかヘルシーメニュー ・塩分濃度体験！減塩・適正エネルギー量のポイント <p>スタッフ：管理栄養士1人、食生活改善推進員4人</p> <p>③休養 こころと身体のリフレッシュCafe</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体計測・血圧測定 ・アロマ・ハンドマッサージ&Teaタイム <p>スタッフ：ハンドマッサージ講師1人、看護師2人、管理栄養士1人</p>	健康長寿課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課								
10 脳の疾患早めの発見検診助成事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	388	352,696	早期に自身の健康状態(脳血管疾患)の把握を促すため、63歳～65歳の方を対象に、脳ドック受診に対する自己負担分(上限9,720円)を助成した。 (助成実績) <table border="1" data-bbox="1070 454 1375 582"> <thead> <tr> <th>区別</th> <th>助成者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社保</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>国保</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table>	区別	助成者数	社保	7人	国保	25人	全体	32人	健康長寿課
区別	助成者数											
社保	7人											
国保	25人											
全体	32人											

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																														
11 母子保健事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	3,974	3,563,301	母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導及び健康診査等を実施した。 〈マタニティ事業〉 <table border="1" data-bbox="1072 395 1709 544"> <tr> <td>母子健康手帳交付数</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦相談</td> <td>13人</td> </tr> </table> 〈新生児訪問〉 <table border="1" data-bbox="1072 592 1709 740"> <tr> <td>出生児数</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>訪問児数</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>訪問実施率</td> <td>93.3%</td> </tr> </table> 〈乳幼児健康診査事業〉 <table border="1" data-bbox="1072 788 1709 979"> <tr> <td>乳児健康診査(6回)</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>幼児健康診査(4回)</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>2歳児歯科健康診査(3回)</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>3歳児健康診査(4回)</td> <td>77人</td> </tr> </table> 〈乳幼児相談事業〉 <table border="1" data-bbox="1072 1027 1709 1176"> <tr> <td>乳児後期健康相談</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児健康相談(12回)</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>発達心理相談(24回)</td> <td>38人</td> </tr> </table> 〈家庭訪問〉 <table border="1" data-bbox="1072 1224 1709 1272"> <tr> <td>家庭訪問件数(妊婦・新生児含む)</td> <td>247人</td> </tr> </table> 〈離乳食教室〉 <table border="1" data-bbox="1072 1319 1709 1367"> <tr> <td>離乳食教室(4回)</td> <td>21人</td> </tr> </table>	母子健康手帳交付数	54人	ハイリスク妊婦訪問	6人	ハイリスク妊婦相談	13人	出生児数	60人	訪問児数	56人	訪問実施率	93.3%	乳児健康診査(6回)	55人	幼児健康診査(4回)	69人	2歳児歯科健康診査(3回)	62人	3歳児健康診査(4回)	77人	乳児後期健康相談	64人	乳幼児健康相談(12回)	14人	発達心理相談(24回)	38人	家庭訪問件数(妊婦・新生児含む)	247人	離乳食教室(4回)	21人	健康長寿課
母子健康手帳交付数	54人																																	
ハイリスク妊婦訪問	6人																																	
ハイリスク妊婦相談	13人																																	
出生児数	60人																																	
訪問児数	56人																																	
訪問実施率	93.3%																																	
乳児健康診査(6回)	55人																																	
幼児健康診査(4回)	69人																																	
2歳児歯科健康診査(3回)	62人																																	
3歳児健康診査(4回)	77人																																	
乳児後期健康相談	64人																																	
乳幼児健康相談(12回)	14人																																	
発達心理相談(24回)	38人																																	
家庭訪問件数(妊婦・新生児含む)	247人																																	
離乳食教室(4回)	21人																																	

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
15 高齢者人間ドック事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	808	664,340	高齢者の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見・早期治療に効果のある人間ドックを受診する後期高齢者医療被保険者に対して、受診費用の一部を助成し住民の健康維持増進に寄与した。 【実績】 平成23年度 受診者 12人 (男 8人 女 4人) 平成24年度 受診者 16人 (男 6人 女10人) 平成25年度 受診者 24人 (男15人 女 9人) 平成26年度 受診者 19人 (男12人 女 7人)	戸籍・保険課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																										
<p>1 各種予防接種等対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.73)</p>	31,649	20,541,716	<p>伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進を図った。</p> <p>〈接種実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 424 1845 804"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象年齢等</th> <th>接種者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td>生後5カ月～1歳未満</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td>生後3カ月～7歳6カ月未満</td> <td>241人</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>11歳～13歳未満</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>生後3カ月～7歳6カ月未満</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>生後3カ月～7歳6カ月未満</td> <td>241人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">麻しん・風しん</td> <td>1期 1歳～2歳未満</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>2期 小学校就学前の1年間</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日本脳炎</td> <td>3歳～7歳6カ月未満</td> <td rowspan="2">298人</td> </tr> <tr> <td>9歳～13歳未満</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>65歳以上</td> <td>1,343人</td> </tr> </tbody> </table> <p>子どもの細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン、並びに子宮頸がんを予防するHPVワクチンについて、ワクチン接種の普及促進を図るため、接種費用の全額を助成し、疾病の予防を図った。</p> <p>〈接種実績〉</p> <table border="1" data-bbox="1070 1023 1845 1339"> <thead> <tr> <th>ワクチン名及び対象者</th> <th>接種回数</th> <th>接種者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ヒブワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児</td> <td>1～4回</td> <td>246人</td> </tr> <tr> <td>・小児用肺炎球菌ワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児</td> <td>1～4回</td> <td>251人</td> </tr> <tr> <td>・子宮頸がん予防ワクチン 中学1～3年生、 高校1年生の学年相当</td> <td>計3回</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		対象年齢等	接種者数	BCG	生後5カ月～1歳未満	60人	不活化ポリオ	生後3カ月～7歳6カ月未満	241人	二種混合	11歳～13歳未満	63人	三種混合	生後3カ月～7歳6カ月未満	16人	四種混合	生後3カ月～7歳6カ月未満	241人	麻しん・風しん	1期 1歳～2歳未満	53人	2期 小学校就学前の1年間	55人	日本脳炎	3歳～7歳6カ月未満	298人	9歳～13歳未満	インフルエンザ	65歳以上	1,343人	ワクチン名及び対象者	接種回数	接種者数	・ヒブワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児	1～4回	246人	・小児用肺炎球菌ワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児	1～4回	251人	・子宮頸がん予防ワクチン 中学1～3年生、 高校1年生の学年相当	計3回	1人	健康長寿課
	対象年齢等	接種者数																																												
BCG	生後5カ月～1歳未満	60人																																												
不活化ポリオ	生後3カ月～7歳6カ月未満	241人																																												
二種混合	11歳～13歳未満	63人																																												
三種混合	生後3カ月～7歳6カ月未満	16人																																												
四種混合	生後3カ月～7歳6カ月未満	241人																																												
麻しん・風しん	1期 1歳～2歳未満	53人																																												
	2期 小学校就学前の1年間	55人																																												
日本脳炎	3歳～7歳6カ月未満	298人																																												
	9歳～13歳未満																																													
インフルエンザ	65歳以上	1,343人																																												
ワクチン名及び対象者	接種回数	接種者数																																												
・ヒブワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児	1～4回	246人																																												
・小児用肺炎球菌ワクチン 生後2カ月以上5歳未満の乳幼児	1～4回	251人																																												
・子宮頸がん予防ワクチン 中学1～3年生、 高校1年生の学年相当	計3回	1人																																												

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 家庭用資源有効利用設備設置補助事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	300	38,500	<p>家庭におけるごみの減量化、水資源の有効利用、再資源化の推進及び住民の環境意識の高揚を図るため、資源有効利用設備(生ごみ処理機・雨水貯留施設)購入費用の一部補助を実施した。</p> <p>【補助実績】</p> <p>◎生ごみ処理機 補助基数 2基 補助金額 20,700円 (平成11年度～平成26年度の補助基数:301基)</p> <p>◎雨水貯留施設 補助基数 1基 補助金額 17,800円</p> <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町HPに掲載 ・区回覧(11月) ・町広報紙に掲載(5月号) ・ふるさとまつりでの雨水タンクの実物展示・チラシ配布 ・プラマーク容器包装物説明会内での啓発・周知 	建設・環境課
3 住宅用太陽光発電システム設置補助事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	1,320	660,000	<p>地球温暖化の防止及び環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの普及促進を図るため、住宅への太陽光発電システム設置に対して補助金の交付を行った。</p> <p>【補助件数】 11件</p> <p>【補助金額】 660,000円</p> <p>【普及啓発】 町HP、町広報紙(5月号、1月号)にて啓発</p>	建設・環境課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 薪・ペレットストーブのある暮らし推進事業費 (歳入歳出決算書 P.75)</p>	1,959	1,750,440	<p>地球温暖化の防止及び環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの普及促進を図るため、薪ストーブや木質ペレットストーブの設置に対して補助金を交付した。 また、奥山田ふれあい交流館に薪ストーブを設置するとともに、ふるさとまつりにおいて、薪ストーブを展示することで再生可能エネルギー利用促進及び普及啓発を行った。</p> <p>【補助実績】 2件 300,000円 (うち薪ストーブ2件、ペレットストーブ0件)</p> <p>【設置実績】 1件 1,450,440円 (奥山田ふれあい交流館に薪ストーブ設置)</p> <p>【普及啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとまつりにて薪ストーブ展示ブースを設置。薪割り体験コーナーを併設。 ・町HP、町広報紙(5月号、10月号、1月号)にて啓発 	建設・環境課
<p>5 環のくらし地域活動促進事業費 (歳入歳出決算書 P.75)</p>	2,950	2,527,750	<p>循環型社会の実現を目指して、地域団体による自主的な資源の集団回収の促進を図ることで、ごみの減量化、再資源化、最終処分量の削減及び資源の有効利用を推進するとともに、住民自らが取り組む環境活動の促進と環境保全意識の高揚を図り、地域での環のくらしの実践を推進するため補助を行った。</p> <p>【事業補助】</p> <p>団体数：14団体 補助額：2,527,750円 再生資源回収量：505,550kg 補助単価：1kgあたり5円</p>	建設・環境課

(款) 4 衛生費 (項) 1 保健衛生費 (目) 3 環境衛生費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																		
11 合併処理浄化槽設置整備事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	559	558,500	公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業計画認可区域外の地域に浄化槽を設置する者に対し費用の一部を補助した。 〈実施内容〉 H26年度交付実績 10人槽 1基(湯屋谷地区) H26年度未交付状況 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>郷之口</th> <th>荒木</th> <th>南</th> <th>岩山</th> <th>禅定寺</th> <th>立川</th> <th>湯屋谷</th> <th>奥山田</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>22</td> <td>43</td> <td>45</td> <td>28</td> <td>248</td> </tr> </tbody> </table>	郷之口	荒木	南	岩山	禅定寺	立川	湯屋谷	奥山田	計	2	1	54	53	22	43	45	28	248	上下水道課
郷之口	荒木	南	岩山	禅定寺	立川	湯屋谷	奥山田	計														
2	1	54	53	22	43	45	28	248														
13 再生可能エネルギー等導入整備事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.75)	7,000	6,847,200	住民が安心して暮らすことができるまちづくりを推進するため、奥山田ふれあい交流館に太陽光発電設備等の整備を行うことにより、災害に備えた防災資機材の整備・充実を図った。 ○整備した設備 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電1基、(定格出力5.0kw) ・蓄電池1台(蓄電容量7.2kwh) ・エコソーラーライト1基(定格出力65w) 	教育課																		

(款) 4 衛生費 (項) 2 清掃費 (目) 1 じん芥処理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 プラマーク容器包装分別啓発事業費 (歳入歳出決算書 P. 77)	942,000	903,128	<p>循環型社会の実現を目指して、ごみの減量化、再資源化、最終処分量の削減及び資源の有効利用を推進するため、プラマーク容器包装物を資源化するにあたり、地域住民へ分別の周知啓発を行った。</p> <p>【住民向け説明会の実施】 ・町内全区で実施(8~10月 計11回) ・サロン等で出前講座を実施(9~12月 計4回)</p> <p>【啓発チラシ等の作成】 ・啓発チラシ広報挟み込み(4月号・7月号・11月号) ・広報誌記事掲載(8月号・12月号) ・回覧板(12月・1月・3月) ・パンフレット作成・全戸配布(10月)</p> <p>【その他】 ・ふるさとまつりでプラマーク分別収集の啓発コーナーを設置 ・役場玄関前にプラマーク分別収集の啓発の看板を掲出 ・ごみステーション設置看板の作成及び張り替え</p>	建設・環境課

(款) 5 労働費 (項) 1 労働諸費 (目) 2 雇用対策事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 町内雇用促進事業費 (歳入歳出決算書 P. 77)	3,024	1,200,000	<p>住民の雇用安定確保及び雇用機会の拡大を図るため、町内在住者等を正規職員として雇用した事業主に対し対象雇用者1人あたり20万円を助成した。</p> <p>○町内雇用促進助成金 交付実績：1,200,000円 ・新規雇用者：6人 ・交付事業者：5社</p>	産業振興課

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 日本緑茶発祥のまち魅力発信事業費 (歳入歳出決算書 P.79)	2,849	2,789,746	「日本緑茶発祥の地」という歴史や、宇治茶を支える一大産地として伝統ある宇治田原茶を広くPRし、良質茶生産の振興と発展を図った。 ○転入者記念品プレゼント事業 96,398円 ・記念品プレゼント数：106件(前年度比5件減) 内訳：急須92件、苗木14件 転入世帯数：170世帯 ○初摘みイベント 78,790円 ○ティーゲート草刈(2回) 34,320円 ○ティーゲート管理(除草剤等) 37,238円 ○町観光パンフレットの改定 243,000円 ○ふるさとまつり実行委員会助成金 2,300,000円	産業振興課
5 高級茶生産振興事業費 (歳入歳出決算書 P.81)	3,283	3,283,000	高品質な玉露・てん茶生産には被覆棚は不可欠であり、高級茶である宇治茶の更なる品質向上及び増産のため、被覆棚施設整備に対して支援を行い、お茶どころ宇治田原町として、更なる宇治茶生産振興を図った。 【平成26年度実績】 事業実施主体：JA京都やましろ宇治田原町茶業部会 受益戸数：4戸 面積：85.33a	産業振興課

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 農林業振興事業費補助金 (歳入歳出決算書 P.81)	4,987	4,572,000	宇治田原町の農業の活性化に関する事業に要する経費に対し補助金を交付することにより、本町の農業者の経営改善及び共同化を促進し、農業の生産性を高め、近代化を促進した。 【平成26年度実績】 H26. 4 合組機及び附帯設備の設置 H26. 7 一重被覆(ネットのみ) 15a H27. 2 一重被覆(ネットのみ) 12a H27. 2 乗用型茶園管理機 1台 H27. 3 一重被覆 35a H27. 3 一重被覆(ネットのみ) 7a	産業振興課
14 農地中間管理事業費 (歳入歳出決算書 P.81)	420	100,000	農地の集積・集約化、農業経営の拡大、新規参入促進等による農用地等の効率的利用を促進するために創設された、「農地中間管理機構」を通じた農地の貸借制度の利用促進を推進するため、農業委員会だよりや認定農業経営者協議会研修会において制度の周知啓発を行った。 ○農委だより 2月8日 2,500部発行 ○認定農業経営者協議会研修会 1月27日開催 14名参加	産業振興課

(款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 5 農地費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 大福茶園再造成事業費 (歳入歳出決算書 P.81)	22,671	21,752,064	<p>茶どころ宇治田原として更なる宇治茶の生産振興を図るため、湯屋谷地区大福集団茶園を再造成の推進を行った。 再造成にあたり、平成27年度農業競争力強化基盤整備事業(国庫事業)新規採択に必要な申請書類を作成するため、大福茶園再造成調査設計業務と環境調査を行った。</p> <p>〈大福茶園概要〉 ○所在：大字湯屋谷地内 ○茶園面積：10.3ha</p> <p>【平成26年度実績】 ・大福茶園再造成調査設計業務 21,610,800円 ・大福茶園再造成に係る環境調査 141,264円 □</p>	産業振興課

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 林地内危険木緊急撤去事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	1,304	1,303,560	<p>中ノ谷川(湯屋谷大滝)沿いに散乱していた伐倒木等が流れ出すことによる人家等への被害を防ぐため、集中豪雨による増水があっても影響を受けない斜面上部に伐倒木の撤去及び処分を行った。</p> <p>林地内危険木緊急撤去事業委託業務 1,303,560円 延長 L=900m</p>	産業振興課

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 有害鳥獣対策事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	7,960	7,251,748	<p>有害鳥獣による農林作物等の被害が増加してきており、被害の軽減及び防除対策が急務なことから、有害鳥獣駆除及び被害防止の各種対策に取り組み、被害の縮小に努め農林業の活性化を図った。</p> <p>○有害獣駆除事業 サル、シカ、イノシシ等による農林作物被害に対し、綴喜郡猟友会宇治田原支部に捕獲委託を行い、有害鳥獣の駆除を行った。</p> <p><サル8頭・シカ103頭・イノシシ54頭・ハシブトカラス20羽></p> <p>○有害鳥獣被害調査業務(サル追い払い)を宇治田原町森林組合に委託し、地域に出没するサルの追払い及び出没状況の調査を行った。</p> <p>○野生鳥獣防護柵設置補助金 農業振興地域農用地において、侵入防止柵の設置に係る事業費に補助を行った。 3件</p>	産業振興課

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 中小企業経営支援事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	4,996	4,245,177	<p>日本経済全体としては、円高や長引くデフレから脱却しようとする明るい兆しがみられる一方で、地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況であることから、負担の軽減、経営安定を図るため、京都府中小企業融資制度及び(株)日本政策金融公庫融資制度による融資に係る利子の一部、並びに京都府中小企業融資制度による融資を受けた場合の信用保証料に対して、補給金を交付し、支援を行った。</p> <p>○交付件数 融資利子補給：22件 1,415,523円 保証料 補給：16件 2,829,654円</p>	産業振興課

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 がんばる まちの商店・企業応援事業費 (歳入歳出決算書 P.85)</p>	6,200	6,058,000	<p>町内で事業を実施し、震災や円高の影響等により厳しい経営を余儀なくされている小規模事業者の経営改善や中小企業の販路開拓等に対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内小規模事業者おうえん事業 ・29件 5,389,000円 ○中小企業販路拡大支援事業 ・2件 669,000円 	産業振興課
<p>5 プレミアム商品券発行事業補助金 (歳入歳出決算書 P.85)</p>	250	244,000	<p>長引く経済不況のなか、町内商工業者の活性化を図るために町商工会が発行する商品券に対してプレミアム分の1/3と、発行に必要な事務費の1/2を補助金として交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発行団体 町商工会 ○発行枚数 500円券×6,600枚 (1セット 11枚 5千円で販売) ○利用可能店 40店 	産業振興課

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 観光振興計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P.85)</p>	4,000	3,752,400	<p>観光的魅力の向上と町の活性化を図るため、その指針となる「観光振興計画」を平成26～27年度の2カ年で策定。平成26年度は、以下の事業を実施した。</p> <p>委託業者 株式会社Jプロデュース 委託期間 平成26年9月10日～平成28年3月31日 委託料 7,203,600円(平成26年度中間支払3,704,400円) 委託内容 中間まとめ(平成26年度分) 1. 観光動向調査並びに地域人材調査結果からの整理 2. 専門部会員からの意見・提案 3. 宇治田原町の観光振興ビジョン・観光振興計画の方向性 活動報告(平成26年度分) 1. 現地調査・地域人材調査の実施 2. 観光動向調査(アンケート)の実施 3. 観光振興計画策定委員会・専門部会の開催</p>	産業振興課
<p>2 末山・くつわ池自然公園管理業務委託事業費 (歳入歳出決算書 P.85)</p>	3,848	3,848,000	<p>年間約1万人が訪れ、本町の豊かな自然と親しむことができるレクリエーション活動の場として主要な施設である「末山・くつわ池自然公園」の施設改修や維持管理を行った。</p> <p>○施設改修概要 ・トイレ改修工事：便器の増設及びバリアフリー化 ・料金所付近道路整備工事：L=40m W=2.5～3.0m</p> <p>○利用者数の状況 ・平成25年利用者数9,548人→平成26年利用者数10,222人</p>	産業振興課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 1 道路橋りよう総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 宇治田原山手線整備促進住民会議助成金 (歳入歳出決算書 P.87)	500	471,939	<p>都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議を支援するため、その活動助成金を交付し、各種活動に参加した。</p> <p>第2回役員会 (6月17日：宇治田原商工センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動について ・予算について ・第2次要望活動について <p>第2次要望活動 (6月30日：京都府知事室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府知事へ要望。町長、府議が住民会議に同行。 <p>第1回4役会議 (7月28日：宇治田原総合文化センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4役 (会長、副会長2名、会計、幹事長) ・役員会の日程及び協議内容について ・今後の取組について <p>第3回役員会 (8月12日：宇治田原商工センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動について ・第2次要望活動について ・課題解決に向けての学習会 ・今後の取組について <p>啓発活動 (8月29日：宇治田原総合文化センター他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断幕、ノボリ旗設置 (参加者 約150名) <p>第4回役員会 (1月30日：宇治田原町役場大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業経過報告、会計報告、事業計画、予算 	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 1 道路橋りよう総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 道路ネットワーク検討事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.87)</p>	3,021	760,382	<p>京都府と歩調を合わせ交通量調査を行うとともに、宇治田原町の道路ネットワークの整備について、京都府と検討会を重ねた。</p> <p>○第1回検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成26年6月4日(水) 午後1時30分～ ・場 所：山城北土木事務所 ・内 容：①宇治田原町のまちづくり計画について(宇治田原町) <li style="padding-left: 20px;">②道路の検討状況について(山城北土木) <li style="padding-left: 20px;">③今後の予定 <p>○交通量調査打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成26年7月30日(水) 午前9時30分～ ・場 所：山城北土木事務所 ・内 容：①交通量調査の日程及び実施場所の調整 <li style="padding-left: 20px;">実施日 平成26年11月12日(水) <li style="padding-left: 20px;">午前7時～午後7時(12時間調査) <p>○第2回検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成26年11月28日(水) 午前9時30分～ ・場 所：山城北土木事務所 ・内 容：①交通量調査の結果について(宇治田原町、山城北土木) <li style="padding-left: 20px;">②まちづくり計画の検討状況について(宇治田原町) <li style="padding-left: 40px;">(山手線の位置付け、第2新市街地、新旧ルートネットワーク、新庁舎) <li style="padding-left: 20px;">③道路の検討状況について(山城北土木) 	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 3 道路橋りよう新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>1 主要町道新設改良事業費 (歳入歳出決算書 P. 89)</p>	65,676	48,629,328	<p>住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するために、主要町道の計画的な整備を図った。</p> <p>※H27繰越 17,000,000</p> <p>郷之口湯屋谷線法面対策工事 工事請負費 延長L=61m 9,999,720円</p> <p>社会資本整備総合交付金事業 郷之口湯屋谷線道路拡幅改良工事(立川) 工事請負費 公有財産購入費 補償補填及び賠償金 延長L=105m 重力式擁壁工 86m 側溝工(道路用・U字溝) 178m他 19,787,760円 1,114,900円 280,800円</p> <p>郷之口湯屋谷線法面改良工事(2工区) 工事請負費 延長L=310m 法面工 1,560㎡ 補強土植生のり枠工 996㎡ 多数アンカー式補強土壁工 392㎡ 他 12,099,600円</p> <p>郷之口湯屋谷線付帯工事 工事請負費 4,989,600円</p> <p>事務費 356,948円</p> <p>(H27繰越事業) 郷之口湯屋谷線法面改良工事(3工区) 禅定寺通学路線測量設計業務</p>	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 3 道路橋りよう新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 集落内生活道路改良事業費 (歳入歳出決算書 P.89)	92,460	63,408,971	7の5号線路肩改良工事 工事請負費 848,880円 道路・水路改修工事(1) 1の29号線排水構造物工事他 工事請負費 4,070,520円 道路・水路改修工事(2) 4の3号線排水構造物工事他 工事請負費 5,676,480円 道路・水路改修工事(3) 6の3号線排水構造物工事他 工事請負費 5,694,840円 道路・水路改修工事(4) 11の6号線排水構造物工事他 工事請負費 4,285,440円 道路・水路改修工事(5) 1の41号線排水構造物工事他 工事請負費 2,978,640円 郷之口末山線舗装修繕工事 工事請負費 514,080円 2の2号線舗装修繕工事 工事請負費 1,036,800円 5の4号線道路改良事業 委託料 5,832,000円 4の13号線法面改良事業 委託料 1,620,000円 4の32号線側溝改良工事 工事請負費(前払金) 7,720,000円 社会資本整備総合交付金事業 郷之口湯屋谷線法面改良工事(立川2工区) 延長L=55m 斜面表層安定化工A=819㎡ 工事請負費 23,052,600円 事務費 78,691円 (H27繰越事業) 4の32号線側溝改良工事、5の4号線道路拡幅改良工事	建設・環境課
		※H27繰越 28,996,000		

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 3 道路橋りよう新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 宇治田原山手線整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 89)	33,019	12,393,713 ※H27繰越 20,000,000	宇治田原山手線の国道307号以北(滋賀県境)約1.2kmの詳細設計、用地測量業務に取り組んだ。 都市計画道路宇治田原山手線の設計に関する協定委託料 12,393,713円 (H27繰越事業) 宇治田原山手線用地測量業務委託	建設・環境課
5 主要町道新設改良事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P. 89)	72,000	72,000,000	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するために、主要町道の計画的な整備を図った。 社会資本整備総合交付金事業 郷之口湯屋谷線法面改良工事(2工区) 工事請負費 72,000,000円 延長L=310m 法面工 1,560㎡ 補強土植生のり砕工 996㎡ 多数アンカー式補強土壁工 392㎡ 他	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りよう費 (目) 4 交通安全対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 生活道路等における交通安全対策事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 89)</p>	77	70,596	<p>平成25年9月の台風18号による国道307号の通行止めの解除に伴い、郷之口岩山線、郷之口湯屋谷線など生活道路への流入は、減少するとともに啓発看板の設置や田辺警察署による取締により、ドライバーの運転マナーの向上が見られた。</p> <p>●平成26年6月24日(火) 工業団地管理組合、ニチダイ宇治田原工場、関係地区の区長、田辺警察署、町職員で構成する生活道路等における交通安全対策会議を開催し、交通安全対策の方策について協議・研究を行うことにより、国道等から生活道路へ迂回する車両に対し運転マナーの向上など交通安全対策が図れた。</p> <p>●平成27年2月26日(木) 生活道路である郷之口鷲峰山、郷之口湯屋谷線の贄田船戸から宮の前橋までの間を30キロに速度規制する導入要望を京都府公安委員会へ提出し、生活道路におけるさらなる安心安全を図った。</p>	総務課
<p>5 曇り止めカーブミラー緊急整備事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P. 89)</p>	7,000	6,977,880	<p>交差点や見通しの悪いカーブに設置しているカーブミラーについて、曇り止めと凍結防止機能を備えた防曇型カーブミラーに更新することで、冬季におけるドライバーの視認性を確保し、交通事故の防止を図った。</p> <p>道路反射鏡更新工事 43箇所 工事請負費 6,977,880円</p>	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) 1 河川費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 河川改修事業費 (歳入歳出決算書 P.89)	23,418	20,753,280	<p>災害に強いまちづくりを目指し、町が管理する普通河川を対象に浸水被害を低減するための拡幅工事や護岸などが老朽化した箇所の改修工事を行った。</p> <p>本ノ谷川河川改修 工事請負費 9,450,000円 委託料 1,607,040円 延長L=112m 大型フリューム 63m L型ブロック 42m</p> <p>実養治川河川改修 委託料(測量・設計) 9,696,240円</p>	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 4 住宅費 (目) 1 住宅管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 町営住宅耐震診断事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	1,010	1,005,480	<p>昭和56年の建築基準法改正以前に建築された住宅の構造的な強さを調べ、地震に対する安全性を判断するため、耐震診断を行った。</p> <p>10月 町営住宅岡之藪団地耐震診断業務委託 1,005,480円 (岡之藪団地北棟 5戸)</p> <p>2月 耐震診断の結果 ⇒早急な耐震補強は必要なし。</p>	建設・環境課

(款) 8 土木費 (項) 5 都市計画費 (目) 1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>2 建築物耐震改修促進計画改定事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.91)</p>	100	95,000	<p>宇治田原町建築物耐震改修促進計画の改定に向けて、上位計画となる計画を持つ京都府と協議を重ね、促進計画を改定した。</p> <p>6月 改定の方針の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面改定は、平成27年度の京都府改定に合わせる。 ・今年度の改定は、簡易耐震改修に言及するもの。 ・平成27年度の全面改定を見据えた小改定とする。 <p>7月 京都府協議(簡易耐震改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の簡易耐震改修制度の問題点を洗い出し ①簡易耐震改修には耐震診断が必須となっていない。 ②簡易耐震改修後の耐力は不明。 ③簡易耐震改修を行ったあとは、本格改修をされないおそれがある。 ④耐震診断がないので、本格と簡易の費用比較検討ができない。 <p>9月 京都府協議(簡易耐震改修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断を簡易耐震改修の補助要件とすることについて ・簡易耐震改修制度を利用する者に対しての窓口対応について(不十分であることの説明) <p>12月 改定素案の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方針どおり、小改定とした。 <p>3月 計画改定・ホームページ掲載</p>	建設・環境課

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 2 非常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 消防団支援隊活動事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	1,373	1,158,636	<p>消防団員の就業形態の変化等により、特に昼間における防災力や地理的情報不足による即時対応力の低下が全国的に課題となる中、災害による被害軽減を図ることを目的に、地域防災の要である消防団の活動を平常時より支援する「消防団支援隊」を組織し、活動への支援を行った。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各地域の自主防災訓練・町総合防災訓練への参加 ○消防団支援隊活動経費補助金の支給 ○支援隊連絡会議の開催 意見・情報交換等を実施 	総務課

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 消防資機材整備費 (歳入歳出決算書 P.95)	4,822	4,818,935	<p>消防団活動における安全性の確保・機動性の向上を目的に、町消防団装備品等配備計画に基づき計画的に消防資機材を整備することにより、配備資機材の拡充を行った。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘッドライトの整備 (110個) ○トランシーバーの整備 (30台) ○無線受令機の更新 (10台) 等 	総務課

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費 (目) 3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 多機能消防資機材整備 事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	6,940	6,822,380	風水害をはじめとするあらゆる自然災害への対応を想定し、町消防団車両等更新計画に基づき、多機能型消防車両の整備を行った。 【内容】 ○多機能型消防車両の整備 平成27年2月15日(日) 午前9時30分～ 引渡式(第2分団第2部へ)	総務課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 1 教育委員会費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 小中一貫教育推進事業 費 (歳入歳出決算書 P.95)	5,303	4,694,076	「宇治田原町小中連携・一貫教育のあり方検討会議審議のまとめ」の“「ふるさと宇治田原」を愛し、未来に羽ばたく子どもたちの育成をめざして”に基づき、義務教育9年間の一貫教育の推進を図り、さらに9年間の系統立った学習指導を進め、確かな学力を身につけた児童生徒を育成するために研究・活動を推進していく取組を行った。 小学校から中学校へ滑らかに接続し、義務教育の充実に取り組む、本町の実情に即した教育環境整備を目指した。 ○小中一貫教育推進協議会を開催し、「小中一貫教育」の方針と全体推進、学園構想、運営体制等基本的な事項の協議を行った。 ○「教職員の人事交流」「3校連携」「小中一貫教育推進」の核となるべき、コーディネーター教員の後補充教員を継続して配置した。 ○住民説明会を3回(3か所)で実施した。 ○各学校ごとの教職員の交流を行う中で、合唱交流会、小学生駅伝大会の練習指導、音楽専科教員による指導等を行った。 ○小・中学校連携部において(学び、ふるさと、交流・支援・人権)の研究・実践を行った。	教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 1 教育委員会費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 「こども司書」育成事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	107	97,806	<p>子どものうちから読書の習慣を身につけ、読書に親しむ環境を整備するため、学校図書室の蔵書の充実と併せ「こども司書」を養成し、児童一人ひとりへの読書啓発並びに図書室利用のリーダーとして活動するとともに、学習意欲の向上に努めた。</p> <p>○H26こども司書養成課程修了者 50人</p> <p>【こども司書活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室での実践 貸出業務・図書分類の仕方についての学習、選書方法等 ・町立図書館での実践体験学習 	教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
3 外国人青年招致事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	2,596	2,283,491	<p>児童生徒及び園児等が交流体験などにより、英語や異文化を理解する資質や能力を育成するために、英語指導助手(ALT)の配置を行った。</p> <p>○英語指導助手(ALT)2人</p> <p>○平成26年度指導実績</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>中学校</td> <td>158日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>85日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所</td> <td>18日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>9日</td> <td>延べ270日間</td> </tr> </table>	中学校	158日		小学校	85日		保育所	18日		幼稚園	9日	延べ270日間	教育課
中学校	158日															
小学校	85日															
保育所	18日															
幼稚園	9日	延べ270日間														

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 幼稚園教育振興費 (歳入歳出決算書 P.97)	13,979	13,977,800	幼稚園教育の振興を図るため、就園奨励費の補助を行った。また、園児の健康増進を図るため、町内幼稚園の在籍園児を対象に健康診断に要する費用の一部の補助を行った。 平成25年度より、町内の私立幼稚園に対して従来の私立幼稚園就園奨励費補助金に更に町独自の上乗せ分の補助を行った。 【補助件数】 ○91件 12,219,300円 (幼稚園就園奨励費) ○39件 1,352,000円 (町独自補助分) ○1件 406,500円 (私立幼稚園健康診断補助金)	教育課
7 通級指導教室運営事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	1,630	1,537,634	井手町並びに宇治田原町通級指導教室運営協議会を設立し、井手町立多賀小学校に「井手町並びに宇治田原町通級指導教室」を開設した。開設にあたって、備品等を購入し教室整備を行った。2学期から運用を開始し、町内両小学校から児童5名が通級した。 ○教室設置に係る経費 1,499,388円 ○運用に係る経費 38,246円	教育課

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) 3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 高校生通学費補助金 (歳入歳出決算書 P.97)	13,147	11,227,800	<p>高校等へのバス通学に要する費用の一部を補助することにより、保護者負担の軽減を図るとともに、生徒の就学を支援した。平成25年度より補助金額を増額し、バス定期によらない通学手段についても補助対象とした。</p> <p>【補助件数】 ○237件 11,175,600円 ○ 1件 52,200円 (緊急経済対策分)</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 学力充実事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	4,847	4,798,249	<p>診断テストを活用し現状課題の改善及び学力の向上に努めるとともに、補助教員を配置することによりきめ細やかな学習指導を実施した。</p> <p>○補助教員配置 小学校 各1人 ○勤務状況 田原小学校 232日 宇治田原小学校 247日 ○学力診断テスト 実施科目 国語・算数 対象 全学年 対象児童数 田原小学校 254人 宇治田原小学校 260人</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 特別支援教育充実事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	4,109	3,885,956	<p>発達障がいのある児童生徒に対して学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、補助教員を配置することによりきめ細やかな指導を実施した。</p> <p>○補助教員配置 小学校 各1人</p> <p>○勤務状況 田原小学校 237日 宇治田原小学校 190日</p> <p>特別支援教育コーディネーター活動(教育相談や関係機関との連携等)の充実、児童生徒一人ひとりの指導計画・特別支援計画の作成など、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導の推進を図った。</p>	教育課
3 茶の里っ子を育む学習事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	253	216,048	<p>お茶に関する学習を通して、生まれ育った宇治田原町の伝統文化及び産業に対する知識を養うことにより、宇治田原町に誇りをもった子ども達を育成し、また、食育についての学習を促進した。</p> <p>○茶検定(合格者) 3級(4年生) 80人 2級(6年生) 98人</p> <p>○総合的な学習の時間において社会人講師を活用し、茶摘み体験、茶香服などを実施した。</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 2 小学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	2,588	2,583,057	<p>読書に親しみやすい環境を創造することを目的に、小学校図書室に図書館司書を配置し、児童の読書活動を促進するとともに、国語力(読解力)の育成及び豊かな心を育むために必要な読書環境の整備に努めた。</p> <p>○学校図書館司書配置 小学校 各1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室における蔵書整理 ・学校図書館連携システムデータ整理及び入力 ・児童に対する読書指導 	教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 中学生ふれあいサポーター配置事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	990	985,113	<p>「あいさつ・声かけ」や見守り活動など、保護者や先生だけでなく第三者が関わることで、生徒が学校生活をスムーズに送れるように、ふれあいサポーターを配置した。</p> <p>○サポーター人数：2人</p> <p>○回数：週4日</p> <p>○時間：1日4時間</p> <p>○延べ出役回数 245回</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 学力充実事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	2,502	2,328,130	<p>補助教員を配置することにより、きめ細やかな学習指導を行うとともに、QUテストの実施により、学級集団の状態や一人一人の意欲・満足感などを調査し、状況把握や指導の充実につなげた。</p> <p>○補助教員配置 中学校 1人 ○勤務状況 維孝館中学校 239日 ○QUテスト 対象 全学年 301人</p>	教育課
2 英語力向上推進事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	515	514,060	<p>中学校において、英語力の向上を図るため、英語検定受験に際し、希望者に一人1回分の受験費用の支援を行なうとともに、受験に向けた学習会を夏休み及び冬休みに実施した。</p> <p>2級 受験者 4名 合格者 1名 準2級 受験者 21名 合格者 8名 3級 受験者 49名 合格者 27名 4級 受験者 111名 合格者 80名 5級 受験者 111名 合格者 95名</p>	教育課
3 茶の里っ子を育む学習事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	162	142,000	<p>お茶に関する学習を通して、生まれ育った宇治田原町の伝統文化及び産業に対する知識を養うことにより、宇治田原町に誇りをもった子ども達を育成し、また、食育についての学習を促進した。</p> <p>○茶検定(合格者) 1級(3年生) 89人 ○総合的な学習の時間において社会人講師を活用し、お茶を使った料理学習、茶香服などを実施した。</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 3 中学校費 (目) 2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 本に親しみ豊かな心を育む図書整備事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	1,669	1,649,236	<p>読書に親しみやすい環境を創造することを目的に、中学校図書室に図書館司書を配置し、児童の読書活動を促進するとともに、国語力(読解力)の育成及び豊かな心を育むために必要な読書環境の整備に努めた。</p> <p>○学校図書館司書配置 中学校 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室における蔵書整理 ・学校図書館連携システムデータ整理及び入力 ・生徒に対する読書指導 	教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生涯学習推進事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	1,627	1,527,701	<p>生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」として青少年教育をはじめ、成人教育など各世代に応じた幅広い分野にわたっての学習機会を提供した。</p> <p>[受講者数]</p> <p>グリーンライフカレッジ開講式 329人 (並びにことぶき大学開講式)</p> <p>青少年教育(子ども茶道ほか) 延べ 371人</p> <p>成人教育(パソコンほか) 140人</p> <p>高齢者教育(ことぶき大学(開講式除く)) 延べ 1,579人</p> <p>国際交流(ALTと園児・児童) 25人</p> <p>図書館講座(大人のための朗読講座) 延べ 36人</p> <p>・学社連携事業等活動助成 校区学社連携推進委員会、地域子ども会、地域青少年を守る会、PTA等の学校外体験活動などを行う団体に対し助成を行った。</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 宇治田原ふるさと文化賞実施事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	158	109,656	<p>児童・生徒に対し郷土愛を育むとともに、宇治田原町に対する再認識・再発見をするため「宇治田原ふるさと文化賞」を創設した。俳句づくりを通し、改めて自分の身の回りの情景や、郷土に対する観察力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考委員長＝母利司朗(京都府立大学文学部教授) ・対象：町内の小・中学生 ・応募句数：一人3句以内 ・表彰式：11月15日(土) <p>[応募結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募人数：357人(小学校：225人・中学校：132人) ・応募句数：754句(小学校：525句・中学校：229句) <p>入賞作品は、町広報紙への掲載や町総合文化センターロビーに掲示するなど活用を図った。</p>	教育課
4 宇治田原歴史資料活用推進事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	1,800	1,618,547	<p>中学生にも理解できるよう、解説文と現代語訳を対比させるなど、お茶の流通を具体的に知ることができるように工夫した調査報告書を昨年度に発刊した。</p> <p>今年度は、調査結果をもとに「お茶のまち宇治田原」を町内外へ発信するとともに、過去の調査資料を利用しやすくするためのデータ整理を行い、誰でも簡単にデータを閲覧できるようにした。</p> <p>また、茶取引に係わる興味深い事実が明らかとなった歴史資料をもとに、江戸時代のお茶の流通について住民を対象に身近に学ぶことのできる講座を開催した。</p> <p>全3回講座・延べ49人が受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 「宇治田原町の茶仲間(山徳組)と山本嘉兵衛」—『古今嘉木歴覧』から— ・第2回 「山徳組と山本嘉兵衛との為取替書」—『古今嘉木歴覧』を読む— ・第3回 「幕末維新时期における宇治田原の製茶取引—潮見家文書より—」 	教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>6 放課後子ども教室推進事業費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.101)</p>	671	600,644	<p>子どもを取り巻く環境の変化や家庭及び地域の子育て機能・教育力の低下が指摘されるなか、放課後における安心・安全な子どもの居場所を確保し、地域の方々の参画を得ながら学習や体験活動等の取り組みを実施した。</p> <p>○運営委員会の設置：開催回数2回 委員長 山下 満弘 氏 (社会教育委員) ほか12人 [長谷川 豊 氏 (京都府立大学准教授) も委員として就任]</p> <p>○子ども教室の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通 称：「まなび茶ろん」 ・実 施 日：毎週水曜日 (実績：年間20日実施) ・実施場所：田原小学校 (主な会場：図書室) 宇治田原小学校 (主な会場：図書室、まるやまルーム) ・実施時間：14：30～16：00 ・対 象：小学校1～6年生 ・内 容：14：30～15：00 宿題やプリント学習など 15：00～16：00 体験活動やスポーツなど ・登録児童：田 原 小…56人 (内、学童25人) 宇治田原小…52人 (内、学童23人) ・参加児童：田 原 小…延べ950人 宇治田原小…延べ929人 	教 育 課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 読み聞かせボランティア養成事業費 (歳入歳出決算書 P105)	50	50,000	<p>○読み聞かせボランティア養成講座 図書館の事業及び地域・学校等で子どもたちを対象に、読み聞かせを行うボランティアの育成を目的として、読み聞かせボランティア養成講座を実施した。現在活動中のボランティアのレベルアップを図った。</p> <p>1回目 平成26年6月30日開催 参加者 17人 2回目 平成26年7月7日開催 参加者 18人 計35人</p> <p>○「絵本のじかん」交流会 上記講座と関連して、平成25年度から「絵本」について情報提供や広く意見交換をしてもらうことを目的に、「絵本のじかん」交流会を月1回のペースで開催。 交流会ではボランティアの活動実態の把握や読み聞かせに適した絵本の紹介を行い、読み聞かせへの関心をもってもらい、読み聞かせのレパートリーの拡大につながっている。また、養成講座を支える土台づくりとしての役割を果たしているといえる。</p> <p>10回 計53人</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 4 社会教育費 (目) 6 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 放課後児童健全育成事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	6,457	6,089,964	勤務等により保護者が昼間家庭にいない児童(対象:小学校1~4年生)に遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田原元気っ子クラブ 平均登録人数 68人 1日平均 38.8人(延べ人数 11,369人) ・ 宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 48人 1日平均 30.9人(延べ人数 9,068人) ・ 年間開設日数 293日 ・ 開所時間(平日) 下校時間~18:30 (土曜日・学校休業日) 8:00~18:30 	教育課

(款) 10 教育費 (項) 5 保健体育費 (目) 1 保健体育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>4 健康トライ!いきいき スポーツ実践事業費 (歳入歳出決算書 P.107)</p>	198	142,020	<p>加齢による身体的変化の中でも大きな要素である「筋肉量の減少」の防止を図るため、「町生涯スポーツ振興プラン」に基づき、住民の運動意欲を高めるための情報発信及び啓発活動を行った。</p> <p>○“貯筋”カードの発行 筋力トレーニングを始めるきっかけづくりを提供するとともに、トレーニングルームの利用率アップを図った。 「“貯筋”カード」はトレーニングルームを1回利用するごとにカードにスタンプを押印し、30円の貯金ができる。10回利用することで300円を貯める仕組みで、貯金した300円で1回分ルームを無料で利用することができる。</p> <p>発行数：215枚</p> <p>○「運動実践カレンダー」の配布 教育委員会等が主催する健康・スポーツに関わる各種イベント情報等に加え、1日のウォーキング歩数・時間を記入しグラフ化することで、運動と体調の関連性を見ることができるよう工夫した「運動実践カレンダー」を作成・配布した。</p> <p>配布数：450部</p>	教育課

(款) 10 教育費 (項) 5 保健体育費 (目) 3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 みんなで食べよう！ふれあい給食開催事業費 (歳入歳出決算書 P.109)</p>	154	148,777	<p>「茶ッピーランチ試食会」等を通じて、子どもたちの健全な心身と豊かな人間性を育む基礎となる食生活に関し、学校・家庭・地域が連携し食育の推進を図った。</p> <p>試食会では、参加者に対して、献立表・レシピを配布し、給食の状況や児童等の様子を伝えることで現状を知ってもらうとともに、世代や地域で給食が異なっていることなどについての話題も多くあり、良い交流の場となった。</p> <p>【試食会】①新入生保護者・祖父母向け 119人 ②住民向け 9人 ③各種団体向け 43人 ④町職員向け 29人 合計 200人</p> <p>【ふれあい給食】 田原小 2人 宇治田原小 2人 調理員が学級に招かれて一緒に給食をとった。</p>	教育課

(款) 1 1 災害復旧費 (項) 1 農林水産施設災害復旧費 (目) 1 農地農業用施設災害復旧費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 平成25年発生農地農業用施設災害復旧費</p> <p>(歳入歳出決算書 P.111)</p>	90,000	<p>46,322,280</p> <p>※H27繰越 36,000,000</p>	<p>平成25年9月15日～16日発生台風18号豪雨災害の異常気象により被災した農地農業用施設の復旧を行った。</p> <p>神上農地災害復旧工事 3,378,240円 ふとんかご57m、ネット柵19m</p> <p>裏白農地災害復旧工事 7,344,000円 ブロック積99㎡、ふとんかご32m</p> <p>竜王農道災害復旧工事 9,590,400円 ブロック積87㎡、ふとんかご、排土工75㎡</p> <p>砂川水路災害復旧工事 4,734,720円 ブロック積38㎡、コンクリート護岸12.4m</p> <p>向田農道災害復旧工事 8,191,800円 ブロック積16㎡、排土工490㎡、ネット柵46m、ふとんかご69m</p> <p>老中農地災害復旧工事 3,655,800円 ブロック積19㎡、ふとんかご82m、ネット柵6m</p> <p>砂川農地災害復旧工事 3,562,920円 ふとんかご76m、ネット柵20m</p> <p>大下司農地災害復旧工事 3,056,400円 ふとんかご57m、排土工252㎡、ブロック積8㎡</p> <p>里西農地災害復旧工事 2,808,000円 ネット柵31.6m、ふとんかご45m</p> <p>(H27繰越事業) 安場農地災害復旧工事 時雨谷農道災害復旧工事</p>	産業振興課
<p>4 農地農業用施設災害復旧費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.111)</p>	49,000	39,424,320	<p>平成25年9月15日～16日発生台風18号豪雨災害の異常気象により被災した農地農業用施設の復旧を行った。</p> <p>松尾農道災害復旧工事 39,424,320円 ブロック積 184㎡ 厚層基材吹付工 1,825㎡ 法枠工 834m</p>	産業振興課

(款) 1 1 災害復旧費 (項) 1 農林水産施設災害復旧費 (目) 2 林業施設災害復旧費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 平成25年発生林業施設災害復旧費 (歳入歳出決算書 P.111)	16,740	16,739,680	平成25年9月15日～16日発生台風18号豪雨災害の異常気象により被災した農地農業用施設の復旧を行った。 立川地区小規模治山工事(その1) 876,640円 ブロック積 26.7㎡、法面工152.1㎡ 林道奥山田線災害復旧工事 14,891,040円 ブロック積313.1㎡ 林道白谷線災害復旧工事 972,000円 ブロック積22.9㎡	産業振興課
4 林業施設災害復旧費(繰越) (歳入歳出決算書 P.111)	9,446	9,446,000	平成25年9月15日～16日発生台風18号豪雨災害の異常気象により被災した農地農業用施設の復旧を行った。 林道2号鷲峰山線災害復旧工事 3,402,000円 ブロック積47.8㎡ 林道末山線災害復旧工事 1,058,400円 鋼製L型擁壁9m 立川地区小規模治山工事(その1) 3,271,640円 ブロック積 26.7㎡、法面工152.1㎡ 立川地区小規模治山工事(その2) 1,713,960円 ブロック積 9.7㎡、法面工87.4㎡	産業振興課

(款) 1 1 災害復旧費 (項) 2 公共土木施設災害復旧費 (目) 1 公共土木施設災害復旧費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 公共土木施設災害復旧費 (歳入歳出決算書 P.111)	47,975	10,665,110 ※H27繰越 37,000,000	平成26年8月9日から10日にかけて大雨をもたらした台風第11号や異常気象により被災した公共土木施設の復旧を行った。 普通河川弥谷川応急工事 41,040円 応急本工事 一式 応急仮工事 一式 一級町道2の2号線道路災害復旧工事 2,359,800円 延長 L=3.2m 逆台形擁壁 A=10㎡ 現場打側溝 L=3m 応急仮工事 一式 二級町道禅定寺通学路線道路災害復旧工事 3,110,400円 延長 L=21m コンクリートブロック積 A=43㎡ 重力式擁壁 V=2m³ 大杉川応急復旧工事 432,000円 応急工事 一式 禅定寺通学路線応急工事 756,000円 応急仮工事 一式 災害復旧測量業務委託その1 131,760円 2の2号線測量 一式 災害復旧測量設計業務委託その2 2,320,920円 弥谷川測量設計 一式 禅定寺通学路線測量設計 一式 災害復旧測量設計業務委託その3 334,800円 郷之口湯屋谷線測量設計 一式 災害復旧測量設計業務委託その4 1,164,240円 大杉川(1)(2)測量設計 一式 事務費 14,150円 (H27繰越事業) 準用河川大杉川(1)河川災害復旧工事 準用河川大杉川(2)河川災害復旧工事 普通河川弥谷川河川災害復旧工事 一級町道郷之口湯屋谷線道路災害復旧工事	建設・環境課

(款) 1 1 災害復旧費 (項) 2 公共土木施設災害復旧費 (目) 1 公共土木施設災害復旧費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
<p>3 公共土木施設災害復旧費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.111)</p>	48,346	35,403,480	<p>平成25年9月15日～16日発生台風18号豪雨災害の異常気象により被災した公共土木施設の復旧を行った。</p> <p>普通河川遠々木川河川災害復旧工事 4,752,000円 延長 L=50.1m コンクリートブロック積 A=79㎡ 植生 A=34㎡</p> <p>普通河川遠々木川河川災害復旧工事 8,964,000円 延長 L=88.2m コンクリートブロック積 A=153㎡ 植生 A=11㎡</p> <p>普通河川松尾川河川災害復旧工事 2,484,000円 延長 L=12.4m コンクリートブロック積 A=43㎡ 植生 A=9㎡</p> <p>二級町道禅定寺奥山田線道路災害復旧工事 8,290,080円 延長 L=40.6m コンクリートブロック積 A=164㎡ 植生 A=670㎡</p> <p>二級町道郷之口鷲峰山線道路災害復旧工事 3,240,000円 延長 L=11.6m コンクリートブロック積 A=46㎡ 植生 A=46㎡</p> <p>松尾川他護岸復旧工事 3,182,760円 延長 L=23.5m コンクリートブロック積 A=52.8㎡</p> <p>4の13号線災害復旧測量設計業務委託 4,490,640円 延長 L=30m 測量、設計、土質調査</p>	建設・環境課

〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】（款） 8 保健事業費 （項） 1 特定健康診査等事業費 （目） 1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 特定健康診査等実施事業費 (歳入歳出決算書 P.153)	8,882	8,365,181	国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）の早期発見を目的とした特定健康診査を行い、メタボリックシンドローム及びその予備群とされた方に対して、特定保健指導を実施した。 1. 特定健診受診率 ○実施期間：平成26年7月～9月（予備月10月） ○対象被保険者：1,950人 ○受診者：906人 ○受診率：46.46%（計画値：45%） （※未受診者に対して予備月を設け、受診勧奨を行う等により、受診率向上を図った。）	戸籍・保険課
2 生活習慣病予防対策事業費 (歳入歳出決算書 P.153)	1,575	1,155,708	国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）又はその予備群と判定された被保険者に対する保健指導に、町独自基準として糖尿病り患の恐れがある者を対象に加え、保健指導を実施した。 1. 特定保健指導実施率（国基準） ○対象者：122人 ○実施者：81人 ◎実施率：（初回）66.39%（計画値：60%） （※リスク発生者への積極的なはたらきかけにより、実施率の向上を図った。） 2. 重症化予防保健指導（町独自基準） ○対象者：12人 ○実施者：10人 ◎実施率：83.33% （合計） ○対象者 134人 ○実施者 91人 ◎実施率 67.91%	戸籍・保険課

【国民健康保険特別会計】（款） 8 保健事業費 （項） 2 保健事業費 （目） 1 保健事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																				
2 医療費適正化・抑制推進事業費 (歳入歳出決算書 P.153)	824	806,679	被保険者の健康の保持増進を図ることで、医療費を抑制し国保財政の健全化を目指すため、医療費通知を実施した。また、新たにジェネリック医薬品（希望カード）を購入配布し、後発医薬品の利用を促すとともに、ジェネリック医薬品利用差額通知を実施した。 1. 医療費通知 <table border="1" data-bbox="1126 488 1686 740"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>通知世帯数</th> <th>対象レセプト総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26. 4月</td><td>1,124</td><td>6,322</td></tr> <tr><td>H26. 6月</td><td>1,134</td><td>6,419</td></tr> <tr><td>H26. 8月</td><td>1,166</td><td>6,688</td></tr> <tr><td>H26. 10月</td><td>1,162</td><td>6,679</td></tr> <tr><td>H26. 12月</td><td>1,139</td><td>6,291</td></tr> <tr><td>H27. 2月</td><td>1,127</td><td>6,488</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,852</td><td>38,887</td></tr> </tbody> </table> 2. ジェネリック医薬品利用差額通知 ○ジェネリック医薬品希望カード購入 1,800部 保険税当初納税通知書に同封（6月） ○ジェネリック医薬品利用差額通知 <table border="1" data-bbox="1126 927 1440 1118"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>通知世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26. 7月</td><td>140</td></tr> <tr><td>H26. 9月</td><td>160</td></tr> <tr><td>H27. 1月</td><td>136</td></tr> <tr><td>H27. 3月</td><td>135</td></tr> <tr><td>合計</td><td>571</td></tr> </tbody> </table> ※府内標準に該当する通知対象者にジェネリック医薬品差額通知を送付	実施月	通知世帯数	対象レセプト総数	H26. 4月	1,124	6,322	H26. 6月	1,134	6,419	H26. 8月	1,166	6,688	H26. 10月	1,162	6,679	H26. 12月	1,139	6,291	H27. 2月	1,127	6,488	合計	6,852	38,887	実施月	通知世帯数	H26. 7月	140	H26. 9月	160	H27. 1月	136	H27. 3月	135	合計	571	戸籍・保険課
実施月	通知世帯数	対象レセプト総数																																						
H26. 4月	1,124	6,322																																						
H26. 6月	1,134	6,419																																						
H26. 8月	1,166	6,688																																						
H26. 10月	1,162	6,679																																						
H26. 12月	1,139	6,291																																						
H27. 2月	1,127	6,488																																						
合計	6,852	38,887																																						
実施月	通知世帯数																																							
H26. 7月	140																																							
H26. 9月	160																																							
H27. 1月	136																																							
H27. 3月	135																																							
合計	571																																							

〈 後期高齢者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】 (款) 3 保健事業費 (項) 1 健康保持増進事業費 (目) 1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 後期高齢者健康診査事業費 (歳入歳出決算書 P.171)	4,816	3,432,702	高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者を対象とした健康診査を実施した。 【実施期間】平成26年7月～平成26年9月 (予備月 10月) 【対象被保険者】平成24年度 1,126人 平成25年度 1,150人 平成26年度 1,148人 【受診者】平成24年度 274人 (男111人 女163人) 平成25年度 277人 (男119人 女158人) 平成26年度 315人 (男140人 女175人) 【受診率】平成24年度 24.33% 平成25年度 24.08% 平成26年度 27.43%	戸籍・保険課

〈 介護保険特別会計 〉

【介護保険特別会計】（款）1 総務費 （項）4 計画策定委員会費 （目）1 計画策定委員会費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 介護保険事業計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P.195)	2,829	2,453,020	「宇治田原町高齢者介護・福祉計画（第5期介護保険事業計画）」の計画期間が平成26年度で終了することから、本町の保健福祉サービスの推進や介護保険制度の円滑な運用の指針となる次期計画を策定した。 宇治田原町介護保険事業計画等作成委員会（委員=11名） ○会議開催 第1回（H26.6.26） ・介護保険事業について ・計画策定スケジュールについて ・アンケート調査について 第2回（H26.8.28） ・現計画の総括について 第3回（H26.10.23） ・介護保険サービス等に関するアンケート調査結果について ・計画の骨子案について 第4回（H26.12.4） ・計画骨子案について ・施設整備について ・第6期保険料の算定について ・パブリックコメントの実施について 第5回（H27.2.9） ・パブリックコメントの実施結果について ・介護保険事業計画（案）具申 ○アンケート調査 ・65歳以上の者 配布数534件 回収数412件 回収率77.2% ・要介護認定者 配布数466件 回収数304件 回収率65.2% ○パブリックコメント	健康長寿課

〈 奥山田地区簡易水道事業特別会計 〉

【奥山田地区簡易水道事業特別会計】（款）2 事業費 （項）3 統合事業費 （目）1 統合事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 奥山田簡易水道施設統合事業費（繰越） (歳入歳出決算書 P.227)	16,514	16,370,353	奥山田地区簡易水道施設を上水道に統合し、水道事業の効率的な管理、運営を図るため、施設の一体化を図る統合事業に取り組んだ。	上下水道課
2 奥山田簡易水道施設統合事業費 (歳入歳出決算書 P.227)	1,800	1,509,560	<p>〈実施内容〉 奥山田大福地内の配水管と湯屋谷配水池を連結する統合連絡管の布設工事及び連絡管から受水できるように湯屋谷配水池の改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合連絡管布設工事 8,701,560円（現年合算） ・ 湯屋谷配水池改良工事 9,072,000円 ・ 事務費 106,353円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合連絡管 PE管 φ75 L=538m ・ 受水電動弁 一式 ・ 配水池電気計装設備 一式 <p>〈事業経過〉 H23年度 簡水統合実施設計 H24年度 奥山田浄水場改良工事 （前処理ろ過機設置、送水ポンプ改良）</p>	

〈 公共下水道事業特別会計 〉

【公共下水道事業特別会計】 (款) 1 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) 5 下水道普及費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 下水道普及促進事業費 (歳入歳出決算書 P. 249)	2,321	1,724,124	公共下水道及び浄化槽整備推進事業による水洗化を促進するため、奨励金、融資あっせん制度、啓発活動等により普及を図った。 〈実施内容〉 ① 公共下水道普及促進奨励金の交付(要件緩和) H26年度実績 50件 (内3年経過交付：24件) ② 融資あっせん H26年度実績 なし 累計18件 ③ 啓発活動 供用区域PRチラシ(年1回) 一般広報・水洗化相談等(随時) ④ 下水道整備普及率(公共下水道+町管理浄化槽) 64.4% (対前年+1.4%) ⑤ 下水道水洗化率(公共下水道+町管理浄化槽) 77.7% (対前年+0.2%) ⑥ 戸別勧奨活動 シルバー人材センター委託により実施 約270件訪問し、約90件に下水道接続の勧奨実施	上下水道課

【公共下水道事業特別会計】 (款) 2 公共下水道事業費 (項) 1 公共下水道建設費 (目) 1 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																													
1 公共下水道(管渠)整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 249)	233,662	153,269,257 ※H27繰越 78,304,000	<p>都市の健全な発達と快適な生活環境を確保し、あわせて公共用水域の水質保全に資するため、管渠等の面整備工事を実施し公共下水道整備に取り組んだ。</p> <p>〈実施内容〉 管渠整備(面整備工事)</p> <table border="0"> <tr> <td data-bbox="1115 485 1406 512">岩-3-3地区面整備工事</td> <td data-bbox="1429 485 1547 512">整備面積</td> <td data-bbox="1630 485 1720 512">0.60ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 517 1547 544">整備延長</td> <td data-bbox="1653 517 1720 544">197m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 549 1547 576">整備人口</td> <td data-bbox="1664 549 1720 576">6人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 608 1406 635">岩-3-4地区面整備工事</td> <td data-bbox="1429 608 1547 635">整備面積</td> <td data-bbox="1630 608 1720 635">2.03ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 639 1547 667">整備延長</td> <td data-bbox="1653 639 1720 667">472m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 671 1547 699">整備人口</td> <td data-bbox="1630 671 1720 699">未供用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 730 1406 758">岩-4-1地区面整備工事</td> <td data-bbox="1429 730 1547 758">整備面積</td> <td data-bbox="1630 730 1720 758">0.00ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 762 1547 790">整備延長</td> <td data-bbox="1653 762 1720 790">238m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 794 1547 821">整備人口</td> <td data-bbox="1664 794 1720 821">0人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 853 1406 880">南-3-5地区面整備工事</td> <td data-bbox="1429 853 1547 880">整備面積</td> <td data-bbox="1630 853 1720 880">0.42ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 885 1547 912">整備延長</td> <td data-bbox="1664 885 1720 912">7m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 917 1547 944">整備人口</td> <td data-bbox="1630 917 1720 944">未供用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1115 976 1182 1003">合計</td> <td data-bbox="1429 976 1547 1003">整備面積</td> <td data-bbox="1630 976 1720 1003">3.05ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 1008 1547 1035">整備延長</td> <td data-bbox="1653 1008 1720 1035">914m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1429 1040 1547 1067">整備人口</td> <td data-bbox="1664 1040 1720 1067">6人</td> </tr> </table> <p>〈H27繰越事業〉 面整備工事1工区(禅-1-6地区) MP設置工事2基(MP23, MP24)</p>	岩-3-3地区面整備工事	整備面積	0.60ha		整備延長	197m		整備人口	6人	岩-3-4地区面整備工事	整備面積	2.03ha		整備延長	472m		整備人口	未供用	岩-4-1地区面整備工事	整備面積	0.00ha		整備延長	238m		整備人口	0人	南-3-5地区面整備工事	整備面積	0.42ha		整備延長	7m		整備人口	未供用	合計	整備面積	3.05ha		整備延長	914m		整備人口	6人	上下水道課
岩-3-3地区面整備工事	整備面積	0.60ha																																															
	整備延長	197m																																															
	整備人口	6人																																															
岩-3-4地区面整備工事	整備面積	2.03ha																																															
	整備延長	472m																																															
	整備人口	未供用																																															
岩-4-1地区面整備工事	整備面積	0.00ha																																															
	整備延長	238m																																															
	整備人口	0人																																															
南-3-5地区面整備工事	整備面積	0.42ha																																															
	整備延長	7m																																															
	整備人口	未供用																																															
合計	整備面積	3.05ha																																															
	整備延長	914m																																															
	整備人口	6人																																															

【公共下水道事業特別会計】 (款) 2 公共下水道事業費 (項) 1 公共下水道建設費 (目) 1 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																				
2 公共下水道(管渠)整備事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.249)	109,651	104,738,700	<p>都市の健全な発達と快適な生活環境を確保し、あわせて公共用水域の水質保全に資するため、管渠等の面整備工事を実施し公共下水道整備に取り組んだ。</p> <p><実施内容> 管渠整備(面整備工事)</p> <table border="0" data-bbox="1075 478 1836 957"> <tr> <td>南-3-4地区面整備工事</td> <td>整備面積</td> <td>3.55ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備延長</td> <td>833m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備人口</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>岩-3-2地区面整備工事</td> <td>整備面積</td> <td>0.00ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備延長</td> <td>19m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備人口</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>立-4-4地区面整備工事</td> <td>整備面積</td> <td>1.86ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備延長</td> <td>672m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備人口</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>整備面積</td> <td>5.26ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備延長</td> <td>1,524m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整備人口</td> <td>172人</td> </tr> </table>	南-3-4地区面整備工事	整備面積	3.55ha		整備延長	833m		整備人口	114人	岩-3-2地区面整備工事	整備面積	0.00ha		整備延長	19m		整備人口	0人	立-4-4地区面整備工事	整備面積	1.86ha		整備延長	672m		整備人口	58人	合計	整備面積	5.26ha		整備延長	1,524m		整備人口	172人	上下水道課
南-3-4地区面整備工事	整備面積	3.55ha																																						
	整備延長	833m																																						
	整備人口	114人																																						
岩-3-2地区面整備工事	整備面積	0.00ha																																						
	整備延長	19m																																						
	整備人口	0人																																						
立-4-4地区面整備工事	整備面積	1.86ha																																						
	整備延長	672m																																						
	整備人口	58人																																						
合計	整備面積	5.26ha																																						
	整備延長	1,524m																																						
	整備人口	172人																																						

【公共下水道事業特別会計】 (款) 2 公共下水道事業費 (項) 1 公共下水道建設費 (目) 2 処理場建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 公共下水道(処理場)整備事業費 (歳入歳出決算書 P.249)	121,868	1,867,771 ※H27繰越 120,000,000	公共下水道の普及促進に伴う処理場の処理水量の増加から、処理場処理施設の計画的な増設に取り組んだ。 <実施内容> 宇治田原浄化センター修正設計業務 <H27繰越事業> 処理場、中継ポンプ場機械電気設備増設工事 (3,100m ³ /日→3,900m ³ /日) <事業経過> H21～H23年度 最初沈殿池(1池)・好気性ろ床(4池)の土木工事	上下水道課

〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】 (款) 1 資本的支出 (項) 1 建設改良費 (目) 4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 西ノ山配水池系統(銘城台安定供給)新設事業費 (歳入歳出決算書 P.27)	49,947	46,990,800	銘城台地区への安心で安全な水道水の安定供給、また、城南衛生管理組合クリーン21長谷山への供給のため、新たな西ノ山配水池系統の水道施設新設に取り組んだ。	上下水道課
6 西ノ山配水池系統(銘城台安定供給)新設事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.27)	152,280	152,280,000	<p>〈実施事業〉</p> <p>舗装本復旧工事 34,771,680円 配水池・加圧ポンプ新設工事 164,499,120円 (繰越合算)</p> <p>舗装本復旧面積 5,355㎡ 配水池施設 SUS製 432㎡ 加圧ポンプ施設 口径 100mm 吐出量 0.41㎡/min</p> <p>〈事業経過〉</p> <p>H24年度 城南衛管とのクリーン21長谷山給水協定締結 実施設計業務</p> <p>H25年度 送水管布設工事 (DCIPφ100 L=1,045m) 配水管布設工事 (DCIPφ200 L=1,322m) (DCIPφ100 L=114m) 用地取得 (配水池 1,240㎡、ポンプ施設 80㎡)</p>	上下水道課

【水道事業会計】 (款) 1 資本的支出 (項) 1 建設改良費 (目) 4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
<p>7 水道施設耐震診断事業費(繰越)</p> <p>(歳入歳出決算書 P.28)</p>	10,620	4,320,000	<p>安心して安全な水道水の安定的な給水のため、水道施設の地震被害の未然防止に向け、計画的な耐震診断に取り組んだ。</p> <p>〈実施内容〉 詳細な耐震診断：禅定寺、くつわ池、高尾配水池（3箇所）</p> <p>〈診断結果〉</p> <table border="1" data-bbox="1299 510 1747 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>レベル1</th> <th>レベル2</th> <th>劣化修繕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>禅定寺配水池</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>くつわ池配水池</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>高尾配水池</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>以上の結果から、禅定寺配水池と高尾配水池は耐震性能を有していなく、耐震補強工事が必要である。 くつわ池配水池は耐震性能を有する結果であるが、経年による劣化があり、構造を維持するための補修は必要である。</p> <p>〈事業経過〉 H23年度 耐震化基本計画策定 簡易耐震診断実施 H25年度 中央配水池診断実施（結果：耐震性能有り）</p>		レベル1	レベル2	劣化修繕	禅定寺配水池	×	×	—	くつわ池配水池	○	○	要	高尾配水池	×	×	—	上下水道課
	レベル1	レベル2	劣化修繕																	
禅定寺配水池	×	×	—																	
くつわ池配水池	○	○	要																	
高尾配水池	×	×	—																	